

第6回（追加）幹事会【議事録】

○日 時：平成29年10月30日（月）19：00～24：00

○場 所：江東区文化センター 6階 第1会議室

○出席者数：11名

議 事

1. 開会あいさつ

発言者	要旨
①	<p>始めさせていただきます。会に先立ちまして、先週末、私たちのほうもちょっとどたばたしてしまいまして、メールにて混乱を生じさせてしまったことに対してお詫び致します。もともと意見交換会とかこの幹事会の目的としては、仙台堀川公園整備事業に関する意見交換会を企画し、運営し、収集した意見を集約して区に報告するという形だと思っています。その提言を改めて頂きということで、というのがまず最初の目的だと思っています。</p> <p>それから、⑰さんのほうからこの幹事会の延長に対してご意見を頂いていて、今日になってメールのほうを返させて頂いたのですが、区としてはいま皆様から受けているいろいろな意見を上のほうにどんどんあげています。もちろん、政策形成部門でもいろいろ話をして、ぜひ今日というか明日までにこの幹事会の提言をまとめて、区に提出したいと思えます。ぜひこのやはり形として残るものというものを私たちは非常に重要だと思っています。本当に、受けた提言を本当に真摯に私たちは受け止めて、仙台堀川整備計画をもっとよいものにしたいというのは本当に私たちは思っているところですので、その辺に関してぜひ、申し訳ないのですが何とか今日まとめて頂いて、明日最後に確認をするというような形でやって頂ければなというのが私たちの思いでございます。</p> <p>ということで、今日の私の考えていることで。よろしくお願ひします。</p>

2. 全体討議

発言者	要旨
⑧	部会は結局どういうふうに。今の話ではよくわからないのですが。
①	検討部会というのは今のところは考えていないのですが、検討部会に代わるようなことで、皆様に返していくというのは当然必要になろうと思っています。
⑧	この提言の中にそういったものが入って、別に構わないということですよ。
①	私たちとして今の段階で言えるのは、検討部会の設置というのは考えていないですが、幹事会の方がそういうようなことで提言をされるということで皆様の中です承されるということであれば、それについては私たちから今の時点で拒否をするということはありません。書かれたことに対して皆様が、最終的には多数決というか、この案でいきましょうということに、全会一致というのはなかなか難しいと思いますが、その検討部会という入れるか入れないかというところになれば、私たちとしては一応今のところ検討部会は考えていませんよという返答になるということです。
⑦	いいですか、早速。

⑰	ちょっと、一つ確認。私からの部会の提言は、意見交換会の場の一つの意見として出された意見ですので、意見交換会の他の意見と同等に扱って頂きたいということです。ですから、その意味で提言書の中に入ることは全然おかしくない話ですよ。
①	そうですね。意見集約という形で入るのであればおかしくはないかなと。
⑧	逆に、入っていないとおかしいよね。
⑦	いいですか。今日の進め方なのですが、僕はちょっと、当然入っていると思っていたんですけど、まさに⑩さんがつくってくれて、それに対して僕が修正案というのを出して、こんな形で、これをベースに今日、もう時間がないので話されたらどうですかというのを出して、それで今朝また⑩さんからありましたね。若干の。それは今日の資料にはない。今朝まさに送られてきたものはここにありますか。
⑤	「提言書バージョン1+2統合」と書いてある資料をお配りしています。
⑰	2つ目の資料の途中からということになるんですよ。
⑤	こちらは、27日の夜に⑩から2種類。
⑦	これはいくつもある。
⑤	いくつもあるものの中に組み込みました。
⑦	それで、それらを踏まえて最終的に僕が、たぶん⑩さんの言われているのは、区長宛の1枚物と提言書。要するに「はじめに」と、それから補足説明ってあったじゃないですか。2と3とナンバリングしてあったんだけど、これをむしろ1つにしたほうがいいんじゃないですかというので、昨日の夜、出したんですよ。その夜出したのに対して今日の朝。
④	8時何分のやつでしょう？
⑦	ええ。
④	だから、今の説明はわかりました？
⑦	それで、それがどこにあるのかなと思って。
⑤	これの中にがっちゃんこされています。
⑩	「江東区長様」と書いてあるやつですか？
⑦	これは見ましたよ。
④	逆に質問してもいいですか。今日の進め方ってテーブルにしたほうがいいのかと思って準備したのですが、今日の意味というのは提言書をまとめるということのために今日、枠取りしたじゃないですか。その時に、これまで寄せられていた多くの人たちの意見を整理して今日の検討の素材にするというのが、私たち事務局がやっていた仕事です。それの中に入っているというのが今の説明。
⑦	で、僕がというのではなくて今朝の⑩さんのペーパーはどこにある。
④	それをこの中に入れてありますので。それは皆さんと一緒に検討するという素材をつくるという作業をやってきています。今日ちょっと私が伺いたいのは、⑩さんと私は全然協議していないんですね。だから、⑩さんの書いてくださったこと、⑦さんの書いてくださったこと、どうなんでしょう、他の方々が合意なのかどうか僕はわからないんです。
⑦	たたき台として今日、使うことについて合意かどうかですよ。
④	それもそうです。というのは、さっき冒頭でちょっと申し上げましたけど、いったいお二方につくった意見というのは、他の人たちの、若干ほかの作業をしましたけれど、それをどうしてこの人の意見を入れないでこういうふうになっちゃっているのか、とかね。もう

	<p>ちょっと言っちゃうと、行政の人は本当にこれでいいんですかとかね。僕は不安で仕方がなかったの、まず客観的な資料にしなくちゃいけない。それを今日作ってきました。</p> <p>もうちょっと言っちゃうと、提言書と書いていながら、これは要望書じゃないですかという印象を私は持っています。本当に提言書にするのであればそのところを議論しないと、これは要望書ですよ、今のは。</p>
⑦	<p>そうするとね、もう今日しかないんだから、提言書のドラフトがないとだめなんですよ。議論しないと。それが例えばいま④さんが言われた考え方のドラフトがここにあれば、それをベースに議論すればいいんだよね。それが欲しいんですよ。ドラフトが。僕はドラフトのつもりで作ったわけ。</p>
④	<p>その意図はわかるんですが、そのドラフトを作る際に、この幹事会の他の幹事いるじゃないですか。その人との比較において判断するということをしていらっしゃるようには思えなかったの。</p>
⑦	<p>だから。</p>
④	<p>だから、ドラフトはここにまずあります。</p>
⑦	<p>いやいや、こういうドラフトじゃなくて、提言書のドラフトですよ。だって形にしなきゃいけないんだから。今日しかないんでしょう。</p>
④	<p>だからドラフトとおっしゃるものの確認をさせてください。</p>
⑦	<p>いいですよ。</p>
④	<p>まず、最終的に出したいものというもののたたき台をバージョン1、バージョン2とやって、そのバージョン2というものを1枚物にしましょうというのと複数枚にしましょうという、資料にしましょうという作業をしましたよね。それについて皆さん意見を言ってくれた人と言ってくれない人がいるんですよ。言ってくれない人は意見がないのではなくて、それでいいと言うのかもしれない。わからない。だから今日開催しているのでしょうか。⑦さんと⑩さんはこれでいいんじゃないかというほうでしょう。</p>
⑦	<p>これでいいんじゃないかと。たたき台としてね。そういう意味だよ。</p>
④	<p>それで、僕が最も気にしているのは、行政の方の発言がこれで大丈夫ですかということなどは、申し訳ないけどお二方のあれでは行政の方が合意、一緒に出せるというものになっていないと思う。その議論をするための素材として今日もちろん。それができなかつたら要望書ですから。</p>
⑦	<p>だから、まさにその議論をするために。今まで行政の意見がやっと出たわけですね、この前、ある点でね。もっと前に出ていけばいいんだというのは僕らの感想だったんだけど、それを言ってもしょうがないから。⑬さんも書いていたけどね。いずれにしても何か形。提言書の最終案的なものが出て、それを議論しないと。だって今日の議論を用いて提言書をさらに作るなんてできないでしょう、そんな作業を。</p>
④	<p>資料の説明をもうちょっときちんと聞いてもらっていいですか。</p>
⑦	<p>いいですよ。</p>
④	<p>いま⑦さんがおっしゃっていることについても考えたうえでの作業で、一応資料を持ってきましたから。</p>
⑦	<p>OK。</p>
④	<p>ちょっと持ってきているロングのやつと、それから持ってきたものを説明をまず共有して、</p>

	今の話について無意味なのか意味なのか、どうするのかというのを決めちゃいましょう。そうしないと時間ももったいないから。
⑦	どうぞ。
⑤	まず配布した資料のほうから説明いたします。まず、枠がついているものが提言書の1ページ目を想定しているもの。1枚物としても使えるものとして想定しているものです。 1ページ目がこのようなレイアウトとして考えているもの。めくっていただいて、題、宛先、前文など書かれているのですが、こちらは例えば題のところに①、②とありますね。これは皆さんから頂いた意見で2択あるものは①②。例えば宛先、江東区長様に関して言えば、江東区長様しかなかったから①だけ。というような形でいくつかの選択肢がここに示されているというようなものが提言書の1ページ目の資料の構造になっています。
④	ちょっと補足していい？ 今日の朝頂いたものにおいてだけ拾っていくのであれば、真っ黒のやつを拾えばそれになります。
⑤	例えば「⑤道路・公園・河川が一体となった検討を行ってください」ということですね。これも組み込まれていますよということ。
⑦	これは1枚物に、区長宛のところね。はい、どうぞ、進めてください。
④	これは皆さん、大丈夫ですか。意味を共有していただけますか。そうしたら、今度は複数物の説明を。
⑤	「提言書バージョン1+2統合」と書いてあるのが、皆さんの26日の午後までに頂いたものをいったん1つの紙に集約して27日の夜にお配りしています。見方としては、複数の選択肢が示されたものを赤字で書いて、新しくここに追加するもので選択肢がないものについては青。それから、文章丸ごと選ぶとか選択肢が2つあるものについてはオレンジで囲むという法則でつくっていました。
⑦	これは送られてきたやつですね？
⑤	送られてきたやつに、本日の朝、⑦さんから修正案として頂いていたものに、⑩さんからまた何かかぶせて送られてきた。それがさらにこの選択肢の中に組み込まれております。というのがこちらの資料になります。 次に、資料編目次と右上に書いてあるもの。これは両面になっていて2種類あるのですが、こちらが提言書の後ろにつく資料編の目次になります。中身については、前につくっていた30ページくらいの提言書案をもとに、これからちょっと中身を組み替えてということをしていくものになります。 それから、何も書いていないものになりますが、こちらが「提言書案へのご意見（10月25日幹事会終了後から本日の15時まで）」と書いてあるものがありますが、ページを打っていませんが、こちらは25日の幹事会が終わった後から皆さんから頂いたメール、本日の3時くらいまでのをすべてコピーして打ち出してきたものです。 最後にもう1つ。参考1としてつけているのが第2回の意見交換会の議事録。申し訳ないのですが全体の会のものだけ先行して出させて頂きました。急ぎ足で確認したので不備があるかもしれないのですが、こちらは来週、11月6日、7日くらいまでに中身のご確認をお願いいたします。 そして、このロングの資料の説明をさせてください。こちらが4種類あるのですが、こちらが1枚ずつ最初の前段の部分の文章、それから提言Ⅰについての文章、提言Ⅱ、Ⅲと

	<p>ということで4種類ございます。それぞれ文章ごとにセルを1つずつ並べていって、皆さん個人の、お名前は伏せてありますけれども一人ひとりの意見を横に並べています。もともとあった前回の幹事会で提示していたものに対してどんな変更があったかというものを。</p>
⑦	<p>これは幹事の意見ですね？ 提言書に関するね。</p>
⑤	<p>はい。</p>
⑦	<p>これも送られてきたやつ？ 1回、エクセルでありましたよね。</p>
⑤	<p>一度送ったものに、今朝、⑰さんから頂いていた修正のご意見がありましたね。それと⑦さん、⑱さん案がくっつけてあるというものになります。Aと書いてある一番左側と同じことが書いてあるセルに関してはハッチがかかっているというのが今回の整理です。</p>
④	<p>ちょっと補足させてもらいます。こういう作業をすると、不安になったのです、いくつか。発言をされている人たちが複数いらっしゃるわけだけど、「よし、まとめる」とまとめてくれた方が、他の幹事の人たちの意見をどうやって入れてくれていたんだろうというのをちょっと見ていったわけね。いくつか気になるわけですよ。まとめるということは、あるところで決断しなくちゃいけないじゃないですか。本日、最初にちょっと確認しておきたいんですけど、今日はまとめるために集まっていますから、全会一致を目指す議論を大切にする気持ちは皆さん持っていると思うんだけど、最後は多数決になっちゃうかもしれない。その辺について皆さんはどう考えて今日の会議をするか。これをちょっと最初に明快にしておきたいと思うんですけど。</p> <p>あと時間。全体の時間で言えば明日までが我々の任期。それに間に合わせようと思って今日は無理くり、これをやっているわけじゃないですか。どういうふうに運んでいくか。これだけ確認してから議論に入ったほうがいいと。</p> <p>もう一つ、ごめんなさい。ここに行政のスタッフの人が、先ほどの①さんの話は、行政という職にいる人としての話もありましたが、もう一つ、我々は同じ同一の幹事ということの立場もありますね。ですので、なぜ行政からの発信がないんだということを待ちながら、なぜ行政からこの修正が出てこないのか、心配で心配でしょうがない。来なかった、結局。来た？</p>
⑰	<p>いや、来なかった。⑥さんから、部会は却下ですという。</p>
④	<p>それは提案じゃないじゃない。このまま出したもので大丈夫かと思って、⑱さんと⑦さんがつくってくれたやつの1ページのものを見ると、これは客観的、社会的に言えばこれはデマンドというか要望書ですよ。これは提言書といいながら、要望します、お願いしますという言葉になっちゃっている。提言ならば、アドボケートなのか、僕は英語はあまり強くないんだけど、プロポーザルなのか、一緒になってやりましょうというのが提言。あるいは、みんなで一緒に向き合っている、その事業はこうやったほうがいいんじゃないですか、そういうような文言で締めるというのが提言書だと思うんです。</p> <p>もし要望なら要望書にしてもいいかもしれないけれど、そのときにこの行政の方々は大丈夫ですかという。お立場は大丈夫なのですかという。無発言で、受け取った後は知らん顔をするというのは一番不適格だと思うんですよ。ですので、本日はそういうことも含めてどういうふうに決めますかというのを最初に決めておかないと、時間切れでしょうがないからこれでやろうというのは一番よろしくないと思うので。おのずと条件がありますから、私たちの日程条件と本日の時間条件の中でどういう議論を今日、仕方ではしめようか</p>

	と。ご発言頂けませんか。今日どうやってこれを明日までにゴールに持っていきこうかと。
⑧	ちょっと今はいいアイデアがないんですけどね。
⑰	いいアイデアはないんだけど、多数決というのが何となく。
⑧	でも、議論を尽くす時間はないよね。
④	いや、だからない中でどうするかという工夫を聞いているんだ。
⑧	とりあえず選択肢があるものに関して、どんどん合意がいけるかどうかというところまで行って、どれを積み残しにするかを考えて、そこだけ議論しませんか。
④	積み残しても明日出すということでもいいですよ。
⑧	しょうがないですね。だから、最終的にどうするかというのは最終的に手を挙げるとかそういう形になるかもしれませんが。
④	なるね。
⑧	とりあえず、いま⑤さんがつくってくれた選択肢のあるものに関しては、どれを選択するかということを書いて、合意がいきそうなやつはぽんぽんいって、だめなやつはちょっと後で。
④	もう一つ、無発言の行政の幹事に対してはどう思いますか。
⑧	僕は無発言は無発言だと思っていますよ。ないんだったら。それはもう、1人の幹事会のメンバーなので。逆に、ずっと④さんがそれを代弁して話されたというふうに僕は認識はしています。
④	それはちょっと違うでしょう。
⑧	いや、知らないです、それは。
④	それはあなたがそう思っている。
⑧	それは⑧の意見かもしれないけれど、私の受け取りを聞いているのであれば、僕は④さんは、前にちょっと書きましたけど、ファシリテートの役なのに実際はね、行政から雇われているというか。
⑦	そういう議論はやめようよ。
⑧	だから、そういうふうなことの中で実際には行政の意見を代弁していると僕は受け取っています。
④	やめよう。今日は発言してくださいよ。
⑦	いいですか。僕がつくったスタンスね。⑩さんが作られて、僕はぱっと読んで、一応自分なり、幹事会は1回休んだけど、それ以外の幹事会と意見交換会、それから資料、自分なりの。それらを全部、とりあえず自分の理解の中で重要なことは外れていないよなという観点でまず⑩さんのものを見ました。それで、⑩さんのものを見る前にこれ。これは提言書に関する意見でしたよね、最初の。
④	⑦さん、決め方の話をしているよ、今。
⑦	それで、僕は100%全員の意見を踏まえたうえで、幹事さんの意見を踏まえたたたき台なんて僕自身でも思っていないわけ。なぜ出したかという、とりあえず今日はもう最終化しないといけないと思っていますから、1つの案を出して、それで今日集まった方たちが「いや、これは違う。自分の意見は違うんだ」と。そういうことを言ってほしいわけ。
④	だから、そう思っていないというのがわかったわけ。他の人たちに配慮してやるべき作業なんだけど、この2人が出しているやつは、行政職員が、行政の人が幹事にいること

	を配慮して書いていないというのは読めばわかったわけ。
⑦	いや、配慮はしていますよ。
④	だから、今日決断すべき資料として並列に並べたわけ。ここで皆さんの議論がノー議論だとだめだから。
⑦	僕は具体的に、⑩さんと私が作ったのが1つのドラフトです。たたき台としてね、一応皆さんに提示したんだけど、それ以外のたたき台があれば僕は全然こだわらないから。たたき台に基づいて1つ1つ、ここは自分の意見と違う、いやそうなんだとかいうのを具体的に議論して、それで進めてほしいなと思うんです。
④	それで今日作ってきています。
⑦	それはだからどれなんですか。1枚物についてはこれかな。これが1枚物の案ですね？
④	これを決断していけば1枚物は終わりますよね。
⑦	そうやってどんどん入っていったほうがいいんじゃないですか。
④	だからそれでいいのかという話は。
⑦	僕はそう思います。
④	いいでしょう。それで問題なのは時間と、日程はもう明日出しましょう。今日の時間はどうします？ それでどういう決め方をします？ 気になるのは、提言書になっているか要望書になっているか。今の表現は要望書になっていますよと。
⑦	でもそこもさ。
④	それを最初に言っているだけ。だから、認識したうえで議論すればいい。さて、それでどうしましょうか。全員でやるというと発言の機会が少ないと思って2つに分けてみたんだけど、これでいいですか。
⑩	みんなの合意を取るんだったら、みんなでやっちゃったほうが。
⑧	一緒にいいです。
④	このままでいいという人はいますか。くっつけちゃう？
⑨	大きな流れの話でいいですか。この間作ってもらったものが基本的にある程度、そこに書き込んでいって直したつもりで、私などは逆に大きく書き込んだのでちょっと的外れだったかなと思ったのですが、それもこれに入っているということですか。前に④さんがつくったたたき台について前回、話をしましたよね。だいたいこれでいいという話。
④	1つずつ確認しよう。持っているものはない？ これだということを書いてくれると話が見えやすくなる。
⑨	だから、前回のドラフトです。
④	これ？
⑨	これです。これに対して、私はちょっといろいろ書き込んだのでちょっと違ったかなと思ったのでそれはそれでいいんですけど、それをとりあえず⑩さんと⑦さんでいろいろ書き直してもらったのが、私はそれが最初に皆さんが集まる前に言ったけれど、ドラフトがあって、それをたたき台としたほうが早いと思ったんですよ。
④	速さの問題。
⑨	あと、④さんのおっしゃるように、私の意見も含めて他の方の意見を反映されているかどうかという。もの自体のほうがあればいいのですが。これを全部整理しているとたぶん。
④	整理したのがこれだと。

⑨	これを選択でいま議論すればいいということ。あともう一つちょっとわからないのは、この1枚物というのはどこから出てきたもの。
④	これは前のグループで出たでしょう。⑩さんのチーム。
⑨	途中でもプリントして見ていたのですが私はすみません、よく見ていなくて、これは番号が①から⑤なのに、一番下だけこの文言が違ってすごく違和感がある。
⑧	さっき⑩さんと⑦さんの間で出てきた言葉がそれになっているので、④さんはたぶんそれが要望的な言葉になっているとおっしゃっているような気がするんですね。
④	ああ、そうかもしれないね。
⑧	他のところは提言みたいな、ちょっと断定的な。
⑨	これについては○とか不確定な部分が多いので、私はこちらであれば今日、ある程度すんなりいくのかなと思ったのです。
④	わかりました。⑨さんはもっと構造的な話で、3つ出すということについての確認をしようとしているんですね。
⑨	確認。そうです。これはいろいろあるのでまとまらない。これが最もベースに近いし、いろいろな人の意見を書き込んであるのであれば。
④	「これ」というのは、これの部分的なものだけなのです。ちょっと前文と後ろの文はあるけど。こういう構造がいいんじゃないかという議論をしていたテーブルがあったと聞いたんだけど。
⑩	一番上に「提言書」といって要点というか大事なことを先に出してみてもどうか。その後ろに資料をつけてみるかどうかという意見は出しました。
④	そうなんだよね。それでもって、こういうような類のものを1枚ペラで。たくさん配ってもいけるようなものがあつたほうがいいんじゃないかという見解に整理されてきていたわけね。この内容がこれではわからないから、じゃあ1冊というところのくらいかなという。
⑦	これくらいですか。
④	それね。もう1つは資料になるんじゃないかなという、こういう構成に今はなっているわけです。
⑦	これはどういうふうに見たらいいの？
④	ちょっと待って。その話の前に今は⑨さんの話。⑨さんが言っているのは、そういう構造に対しての意見ではなくて、これはこういう構造でいいんじゃないかという前提に立った意見ですか。
⑨	1、2、3でも、この資料ですよ。
④	そうそう。
⑨	はい。ただ、これは決まっていない部分が多いので、これで議論しはじめちゃうと大変だろうな。こっちは、どちらか選択したりすればいいだけの話なのでそっちのほうが早いだろうなというのと、たたき台としてドラフトがあるのであれば、そっちの。これはちょっと見づらいので、⑦さんとかの最終版のドラフトがあればそれをたたき台にしたほうが早いんじゃないかなと思ったんですけど、今ここにないので、これで議論していく必要が。これが一番メインなのかなと。
④	その議論を前半にしていたんだけど、いま⑨さんが言ってくさっているのは、これとこれの関係は理解していますよね。

⑨	わかります。
④	こういうような構造がまず有意義なのかどうかを言っていたことができれば。これはこの中から要素を拾ってきているわけですけどね。
⑦	あのね。せつかく僕らが作ったからこの構造を言います。僕らは提言書とここに書いたんだけど、たぶんこれは区長へのお手紙なんですよ。1枚目は。
④	ちょっと待って。言っている意味はわかるんだけど、その前の話をいま⑨さんは言っている。
⑦	それで、2枚目が提言書なんです。そういうつもりで作って。提言書のこの部分は、まさにこれを見ながら取捨選択して、私なりに。それはたぶん⑩さんが、これに基づいて取捨選択したんですよ。⑩さんが。僕の理解はね。これに基づいて⑩さんが取捨選択しているなど。僕も、⑩さんのものを見て、これを見て、取捨選択した形でこの提言書というのを作ったんです。だから⑩さんの文章もかなり変わっているんです。
④	だから、それは⑨さんの答えになっていないんですよ。その前に、別のグループとしてその議論があったことをいま報告してくれている。それに基づいてこういう構成にするという話を今している。だから、こういうような3つの構成というものを前提として、明日その作業に向けるかどうか。これを一回、やろう。
⑦	今日。
④	そういう話。それで、⑩さんがおっしゃってくださった、⑩さんのグループでこういう1枚ペラがあったほうがよかろうと言ってくれたのが、いま別のグループだと思っていたけれど⑦さんが言っていた意味と同じ。
⑩	別のグループでしたが。
⑧	鏡が1枚あると。
⑦	鏡が1枚あって、まさに5枚物というやつですね。
⑩	はい。
⑦	鏡にはちゃんと提言の項目が書いてありますと。
⑩	イメージとしては、まあこんな。
④	では、これとこれはつづられて1つ物だというイメージでよろしいの？
⑫	⑩さんと前回同じグループにいましたけど、イメージとしてはそう。表紙というか1ページ目というイメージで話をしていました。
⑩	そういうことです。
④	そういうことでいいの？ そうすると、⑨さんの言っている話はみんな共有したのかな。それでいいかどうか確認しよう。
⑧	ちょっと混乱しましたね。⑨さんの言っていた最初のは、⑨さんはこの間の集まったときに赤字を入れたものがきちんと入っているかどうかを聞いたの？ 違う？ そういう話じゃないの。
⑨	この間のものがベースになって、その文言修正だと思ってやってきたので。
⑧	やって、今回の⑤さんの作業の中にその修正はこの中に盛り込まれているかどうかを聞いたんじゃない。
⑨	盛り込まれているかどうかではなくて、かなりちょっと大幅にイメージが変わってきちゃっているの、それで面喰っちゃった部分があって。何だろうと思って。一緒にいたので、

	⑩さんもちよっとわからないですね。
⑤	これが出てきたことがびっくりということですか。それとも、これの中身が変わって。
⑨	これですね。だから、逆にさっき言っていた⑦さんのは見ている。この1枚物。これがついて本文が始まるくらいだったら、別に理解がいくのですが。これを圧縮したのがこれで、これだけ見ればという。文言はともかくですよ。ただ、これがごそっとついちゃうと、なんかちょっと。
⑦	これは作業ペーパーだよ。
⑩	これ？
⑨	これがついちゃうと、もうわけがわからない。
⑩	私もこれは、ちょっと何のことを言っているんだろうと思いました。これを見たときは、1、2、3になって。
⑤	これは提言Ⅰ、Ⅱ、Ⅲなんですけど。選択肢が皆さんの意見でたくさん提言の文言が出てきたので、これは提言Ⅰの中の皆さんの案で、どれかを選ぶ。Ⅱの四角の中からどれか1個を選ぶ。
⑩	ありがとうございます。わかりました。
④	今はどういう資料の構成なのかわからなかったのが共有できたとするでしょう。
⑨	ああ、そういう見方なのか。
④	そうすると、最終的に私たちがどういうものを作るかということで、1枚でも配れるものを作りたいという意見だったのかなと思っちゃった。
⑨	わかりました。1枚物の中に、この中の項目として皆さんがこう書いてきたからということですね。
④	それは資料2で了解したでしょう。⑩さん、どう？
⑩	わかりました。
④	その後に⑦さんがおっしゃってくれているのは、何かしら冊子の前の1枚目というのはこういうカチッとなっているやつを出して、「そうか」ということで読むというものにしたらいんじゃないかなということでしょう。もう1つ、これはこれで出せるものをつくったほうがいいんじゃないかと。フライヤーみたいなもの。
⑦	それは後の話だから。
④	今その議論が出てきたからこうやったの。それはどう？ 今もそのほうがいいと思っておられるなら、1枚で完結するような構成が不可欠じゃない。もらった人が意味がわからないといけないから。⑦さんがおっしゃっているようなものをつくるなら、そこまで書かなくても後ろを見ればいいということじゃない。
⑦	だからまさにこれ。区長へという。提言に書いているけれど「区長へ」というやつね。それでこれがついて、提言しますよ、提言書はどこですか、これですと。1枚物は、僕は次の段階でつくればいいんじゃないのという感じがするんです。
④	誰がいつ作るの？
⑦	それはだって正式なものじゃないから。それは11月1日に入ってたっていいんですね。作れというなら僕が作ったっていいしね。
①	1枚物というのはそれですよ。それからこれになるわけだから。
④	⑩さんと同じグループだった？

①	違います。
④	違うんでしょう。ちょっと聞かせてもらえますか。⑩さんのグループからそういう情報が入ったのでこれを作ったに過ぎないので、そういうものがどうかを今決めちゃえば話はおしまいなので。
⑩	でも、それはうちだけで決められるものでもない。
④	今話を聞いたうえで、やっぱりあったほうがいいと思うかどうかだけ聞かせてもらえれば。
⑩	見たときに「あっ」と思って。やっぱり重要なことだけが目に入ってきて、訴えられるものはいと思います。でも、1枚で完結するわけではないなと思っているので、やっぱり後ろにこれは必要ですよ。
④	じゃあ、もうよろしい？ たくさん配りたいという意図があるかと思ったものですから。だから1枚物で、それだけでも読んでわかって頂けるものをたくさん作って、みんなにたくさん伝えたいという意図だというように受けとめて、そういうふうには作業はしてきましたけど、不要だよということであれば。
⑦	いや、役に立つと思います。
⑩	どうですか、⑫さん。
⑫	前回の班の議論だと、この1枚目でちょっと内容が提言書として伝わりにくいので提言内容を頭に入れようというところから話が出ているので、1枚だけでわかるようにというところにはなっていないかったです。
⑩	図があったので混乱してしまって、図を見るよりもこれでぱっと提言がわかる。それが一番最初の。
⑫	あくまでも提言書の1ページ目を作ろうというイメージでした。
④	さて、ずっとあれでしたがいかがですか。整理して作業に入りましょうね。⑩さん、ご感想を。1枚物を作ったほうがよかろうと思いますか。とじたものと1枚物でよかろうという意見を言って頂きました。他の意見はありますか。
⑫	私はなるべく大勢に見せるような、見てもらえるように掲示板とか区役所の文化センターとかああいうところでの配布を提案したい。
④	つまり、1枚物でもいけるものをいずれ作ったほうが良いと。
⑫	それはね、この場でやらなくてもいいとは思いますが。
④	了解です。
⑫	正式なものは明日中に出さなければいけないわけですよ。それをやることを急がないといけないと思いますので。
④	そうすると、この資料の使い方の意味がちょっと変わります。この中の提言が3本というやつ全部のやつが情報としてありますので参考までに見てくださいという情報になりましたという、そういうふうになりますね。だから、これが頭にくっきますよということで、こちらの資料をもっぱらやって。では、くっつけちゃいましょうか。
⑫	いや、別に。
④	それでどういうやり方をしましょうか。資料の構成はおわかり頂けましたか。最初のたたき台。もう一回、見せてもらっていいですか。これの文章ベースを入れて、違うんじゃないとたくさん皆さんに出してもらったやつは、選択肢があるものは赤、ないものは青。こ

	ういう整理をしています。
⑦	すみません、④さんね。それを踏まえた一つの案が出ているんだから。ここにね。ここに出ているんだから、この案に、このドラフトに「これが足りませんよ」「ここは違いますよ」という、そういう議論をしていったほうがまとめるについてはいいんじゃないですか。だから僕は、何もこれにこだわるわけじゃないんだけど、④さんのところでいわゆる提言書的な、いわゆるこれ的なものがあれば、それをベースに。要するにもうできあがったやつ、ドラフト。これはだってできあがっていないじゃないですか。一つひとつ、どれを入れるか入れないかをこれから議論するのですか。
④	いや、議論するんじゃないでして選択するだけです。議論するという情報はこの中に、皆さんから送られてきたものがあるから。
⑦	それで、じゃあ選択しました。文章化はどうするの、いつするの？ 文章化。
④	⑦さんと⑩さんが作られたやつの、あれは要望書だと思いますがどうですかという質問から答えて。
⑦	いやいや、僕は要望書であろうと提言書であろうと、今はそんな問題じゃない。
④	あ、そう。
⑦	要するに、それは言葉の問題で、内容的にこれでいいかよくないかということにすればいいんです。それをここで決めればいい。具体的に。だって、あと1時間しかないんですよ。
④	その時間も含めて、我々はずっとこれを。皆さんの一人一人。お二方の意見だけじゃない意見が。
⑦	わかっていますよ。それを、ここに1つの案があるから、これについては違いますよ。
④	これに入っているの。そこで、これが。じゃあ、⑦さんのところにアンダーラインを引きますか。
⑦	参考資料でやればいいじゃないですか。
④	同じ。アンダーラインを、言うから引いてください。そうしたら、⑦さんと⑩さんが出してくれたやつとなっていますから、これも。それで理解ですか。
⑦	あまりわからない。ちょっとやってください。9時を頭に入れて。
④	私が一番心配しているのは、行政の幹事の人がこれでいいのかどうか。その発言の機会をきちんと取ってあげなくちゃいけないんじゃないかというのが私が気にしているところ。
⑦	ぜひ聞きたいところですよね。
④	黙っているままで、受け取って、実はこれを倉に入れられたら、何のためにやっているかわからなくなっちゃう。
⑦	黙っていたら、これは認められちゃう。
①	ですから、倉には入れませんよ。もちろんのこと。提言書としては受け取りますけど、できないことはできませんという形になりますので。
④	ここで言えないんですか。
①	いや、この間も言ったように、ここでは言えないとかまだ決まっていないことは言えないですよ。それは皆さん理解して。
⑧	今日は議論する場ではないので。この間までが幹事会の議論の中心であって、今日はこの提言書をまとめる作業だと思っているので、今日言われはじめても、それに対して僕らは返せない。

④	⑦さん、すみません。⑦さんが出してくれたやつを読んでもらうと、これにみんな入っているから。言って頂けますか。
⑦	どこ？
④	⑦さんが出してくれたやつ。これで話題にしたいところを言ってもらって。あるいは、それを借りてコピーしてくる。まず、ごめんなさいね。⑦さんの意見はわかった。他の方はみんないいんならそれでやろう。
⑨	いいです。
④	あなたはわかった。他はどうか。
⑧	ちょっとイメージがわからないんだ。
④	それを確認しよう。よかったらそうしよう。
⑧	僕は見ていないんですよ。申し訳ないですけど。
①	コピーを。私のつたない字はフリクションなのですぐ消えるから、これでコピーを取りましょう。
⑦	いいじゃない。
⑧	全然かまわないんだけど。
①	でも、これに入っているんですよ。これを選んでいけばいいということですよ。
⑦	1つ1つ具体的に、これはいい、こっちのほうがいいんじゃないという、そういう議論をすればいい。そうしたらできるんです。
⑩	⑦さんのを読ませて頂いて、よくまとまっているなあと思っていたんです。でも、④さんの意見を聞いて、ああ、そうか、お二人の意見がすぐ入っている文章で、他のここに出ているのが考慮されていないこともあるのかなと思ったんです。なので、これを読みながら、これがみんなに渡っているの。
⑰	逆に言うと、⑦さんのやつをベースにしながら、こっちを見て直していけばいいんじゃないですか。たぶん⑦さんが文章化と言っているのは、これを選択していると人によって言葉づかいが違うわけじゃないですか。
④	まあ、言って、私と⑤さんはどっぷりこれをやっているわけです。だから、もう構造的な話題を僕はつかんじゃっているわけ。その構造的な話題は、再三言っている、これの表紙には提言書と書けないな、この内容じゃ。
⑰	言葉づかいとして。
④	構造的な話として。
⑰	「構造的な話」ってどういうこと？
⑦	そこは「提言」という言葉をどう受けとめるかの話だから。それはいいんじゃないですか。それはここで決めればいい話であって。
⑰	「構造的な意味」と言っているのがよくわからない。
④	それはじゃあ付帯的なことで話しますね。それからもう1個は、幹事としている行政の人からの発言がなぜこのままないままにいけるのかという、この2つだけです。
⑦	それはだから、これでたぶんなかなかこれは受け入れがたいよなというところがたぶんあると思うんです。
①	それは当然あります。
⑦	そこはもう言うてくれればいい。

④	さっきの冒頭の話も「私たちは」という話をしていたけど、「私たち」じゃないんですよ、ここに来たら。一幹事なのです。
①	一幹事でありながら、これを出すということが矛盾しているんじゃないかと。
⑨	矛盾していたら、矛盾していると言わないといけない。
①	そうですね。
⑨	多数決で否定されるのか、ちょっとわからないけど。
⑦	行政をすごく斟酌しているのは1点だけ。僕のオリジナル案は、工期延長ですよ。だけど、それってたぶんどできないよねと。だから一応あれは前提で。それはオリジナルの前提として書いてあったでしょう。だからあそこは残した。ただ、やっぱり付記で区民幹事としてはやむをえない。
⑨	もう作業は進めるしかないと思うので、私は⑦さんの作られたドラフトをそのことで合わせながら打ち込んでいって、それでUSBに最後は落としてプリントして終わりくらいだと思って作業しているのですが、ただ、今すごく気になったのは、ということは言いたいことをずっと言ってきていなかったということですね。今さら、もう最後の。
④	いいじゃない。だから、今日はそれを言わなければいけない。
①	いや、逐一言っただけだと思いますけど、ただ、検討部会のことに関してはちょっと私たちの立場が微妙だったものですから、それは言っていなかったんですけど、うちの課内、部内で検討したときに、検討部会は今はちょっと考えていないから、ここでしっかり表明をするようにということになったので、表明をした。
⑩	でも、それを表明してくださったのはよかったと思う。
⑯	直接は関係ないかもしれませんが、先週の資料の中に、これは先週に限らず同じでしょうけど、公園の、要は、災害時の使い方なりとかがうたってあるんですけど、そこでお尋ねしたいのは、これは公園課、道路課だけの話で進んでいるのか。危機管理課と連携しているのかどうか。それをお尋ねしたいのです。というのは、一時避難所にしてあるんです、私の家の前は。通称ゲートボール場。工事に入る問題と、それとそれに近いような広場が残るようにはなっていますが、パースを見ますとね。その辺が役所として、要は区として連動して動いた計画なのか、公園課なりの計画のもとに進んでいるのか。それは非常に大きな問題なんですよ。
①	基本的には土木部単体でやっています。
⑯	そうですね。そこがちょっと心配になってくるんです。
①	ただ最初に言ったように、説明会でもちょっと話はしたのですが、大規模リニューアル検討委員会というのを最初にやっていて、こういうことをやっていきますよということでは庁内で、全部でオーソライズは取れているという形になります。当然のことながら、消防とか防災とか工事の関係というのは逐一相談はしていますので、計画単体としては土木部単体ですけれども、全然協議していないということではないという。
⑯	その時にね、これは我々は自治会なので、自治会が危機管理課に申告するんですよ。我々の団体はここを一時避難所としますと。それで受け入れられて、全体の区の地図の中に落とされるわけです。そこに一時避難して、危ないなと思ったら一次避難所に移動するのです。これが区の危機管理の仕組みになっているんです。だから連動していないと、連携がされていないと、はてなになっちゃうんです。それを今まで確認しなきゃと思いながら忘

	れていまして、いま教えてもらいたいのですけど。
④	今は、報告はしているけれど協議はしていないし。
①	具体的な協議はしていないという。
④	計画も特に、「ならば」という計画に至ってもいないという。
①	そうですね。代替の場所とかそういう具体的な話にはなっていないと。それは今後、この話を。今こういうご指摘を受けたので、また関係機関協議の中で話をして。ただ、消防署とかは一応いろいろ話はしていますので。でも、避難の話と消防の話はちょっと違うので、また。
⑬	消防の問題ではないんですけどね。ですから、我々も勝手に変えるわけにはいかないし。そうなんです。
④	その点については、ホームページでこの幹事会を公募するときに、公園の魅力向上と地域課題の解決につなげていくという話で公募しているにもかかわらず、そのところができていないという話が今の一つですよ。
⑬	私も質問がちょっと、確認が遅くなって申し訳ないんですけど。今日が最後と思って。
⑧	あとね、今、行政の方々が部会の云々という話がありましたけど、そうはいつでも、我々幹事会の中でまとめた提言書というのは区長宛に出すわけですよ。いったん役所が受け取って、①さんのところが受け取るわけですけど、そこでまったく何もなしに区長のところに行ってくれば、別に僕は問題ないだろうと。いろいろなご意見があるけれども、我々の幹事会がまとめた意見としてそのまま出してもらおうというふうなことで。
①	もちろん、それは。
④	ちょっと待って。それは、通ればいいということを言っているだけじゃないの。
⑧	いや、違いますよ。今のご意見。
④	だって、行政的にまたバックオーダーじゃないけど戻ってくるということに対する見解を持っていらっしゃるわけでしょう、職務上。それならここで出してもらったほうが。
⑧	もちろん。言わないということに対して言ったわけです。盛り込まないという話に対して、後で行政側としてはこういうふうな考え方もあるんだよとおっしゃっていたけれど、①さんたちとか区役所の方々が何も言わない状態で提言書がまとまったとしても、そこで何かしら手を加えたりとか。そのまま行って頂ければ問題ない。それが嫌であれば意見を言うしかない。
⑨	とにかく時間がないので。言うしかないと思うんですよ。
①	別に。
⑨	そこで、④さんはたぶん一番よく⑤さんを見ていらっしゃるので、そこで他の幹事さんからこういう意見が出ていたよとか、いろいろ今まで見てきてこういう言葉の表現のほうがいいよとか、こういう書き方のほうがいいよということであれば、そこで言って頂ければそれで皆さんの判断で、じゃあそうしましょうとかいう形でやっついていかないと。
④	最大の質問をさっきからしているんだけど、それについてちょっとご意見を頂いて、それでいいよとなれば僕はそれでいい。
⑰	最大の質問というのは？
④	要望書になっていますよ、今の状況はと。
⑨	それはどういうこと？

④	2つ目は、「区民は」という主語が。区民になっちゃっていますよと。区民だけになっちゃっていますよという言い方かな。極端に言えばね。行政の人もいるんでしょう。なぜ黙っているんですかということね。「区民は」というのは皆さん区民だから別にいいかもしれないけど、これはそういう主語でいいですかという質問。この2つ。それで、最初の⑨さんが言った「どこに」ということから言えば、さっき⑧さんが言ってくれたけど、これを見たときに⑤だけ。黒くなっているやつを見て。
⑧	そうそう。⑤に関しては「してください」になっているので、そこは要望になっているなというふうに思いました。
④	そうだね。このくらいかな。
⑧	だから、そういったところがね。
⑨	変な話、ここに全部盛り込まれているなら、私がベースにしたいのは。
⑧	そこは注意しながらいけば。
④	今、来るからそれが。コピーして配ってくれるから。
⑨	ただ、ここで直していかないと。
④	今、議論に答えているのになぜ。
⑨	ここは10時に追い出されるんでしょう。
④	今2つ質問したんだから、答えてよ、僕の質問に。2つ聞いているんですけど言ったんだけど、⑨さんは答えない。要望書でいいですかと。
⑨	要望書ではよくないですよ。
④	主語は区民だけでいいんですかと。
⑨	それは直していく過程で直していけばいいんじゃないですか。
④	でも、今はそれをやっていって。あなたが言うから私たちは2つ。
⑩	⑩さんがおっしゃっていたように、行政の受け取りやすいものにしていけばいいんだと思ったんですね。
①	前向きな意見を頂きたいというのが正直なところです。いろいろなところで。
⑩	逆に言うと、どういうものだったら受け取りやすいですかとおうかがいしたい。
①	それはいろいろな。
④	いま言ってくださった説明はとてもわかりやすいんですけど、行政に受け取ってもらうというのは仕組み上そうですけど、その際に一緒に何かやっていきましょうというスタンスを持って議論してきているじゃないですか。だから、次の事業はこうすべきじゃないかという言い方と同じ意味で今の理解していいですか。次を全部決めるのは行政だという前提でしゃべっておられるかどうかということの確認なのですが。
⑩	全部、行政が決めるかどうか？
④	全部、行政が決めていっちゃうんだというような前提で言っているのかどうかという。
⑩	どちらが上かみたいなの？
④	というか、私が気にしているのは、⑩さんが次も検討会をやったらどうかと。⑧さんにおいても、先々も一緒にやれる状況をつくったらどうかという発言がこの中にあるわけですよ。だから、みんなでやりましょうというのがこの提言書の一つのまとめ方なんじゃないかという認識でいま私は聞いています。
⑩	私もそう思っていました。でも、それだけとだめだとおっしゃる。部会とかはだめだとお

	っしやる。検討部会は考えていませんという回答がありましたよね。だったら、じゃあどういうふうに出そうかなと考えるわけです。だめ？
⑧	いやいや、それは内容だから。
⑦	検討部会と具体的にやっちゃうと受け入れがたいよね。もう僕らに発言したから。部会はだめよと。だから、そういう体制を、システムをぜひつくってほしいと。これは要望なのかもしれないけど。だからそういう言い方。
④	それは提案だと思う。
⑦	そういう言い方だと、区幹事もまあいいんじゃないのという。その辺はすごくおもんばかって。
④	⑨さんはどう思っている？ 今の段階で答えはどんなの？
⑨	もう1回、質問を。
④	提言書と思って読ませていただくと、これは要望書に近いんじゃないかと思いました。それでいいでしょうか。もう1つは、これだけの立場の違う人から構成された幹事会でありながら、どうも主語が区民になってしまっているように思いますが、それでいいでしょうか。
⑪	そんなに区民になっているかな。
⑨	私はその明確な区別がわからないので。
①	意見交換会の集約だと考えれば区民。
⑦	僕はそれでいいと思うんですよ。
⑪	私もそれは。
⑨	読みながら変えていけば。
⑦	それは④さんね、僕がこれは⑩さんのをちょっと変えたんだけど、まさに区民の意見。要するに出された1,300の意見、それから意見交換会での意見交換の状況、それと幹事会での議論、この3つを踏まえて提言書を作りましたと。だからそうすると、多くの区民がこういうふうに思っていますよとかいう表現があるのですが、それはそれでその1,300の意見を僕らがまさに読み込んだらこうですよということだから、区民が主語になるところはあってもいいんじゃないですか。
④	もちろんいいと思います。もうちょっと言っちゃうと、この最初のところで、この提言書を作った構成メンバーはこういうメンバーですと書いてあるじゃないですか。その構成メンバーが出すんでしょう。だから、構成メンバーが主語になるのだと思ったので。
⑧	そうそう、幹事会がということでしょう。
⑦	そうなんですよ。ただ、この提言の根拠は区民の意見、1,300の意見の。
④	根拠ということ。根拠はそれであって資料であってさまざまということね。
⑦	主語は幹事会だと思っていますけど、区民が望んでいるので幹事会としてはこういう提言をしますよという、そういう組み立てになっていると僕は理解しています。
④	区民がこのプロジェクトに対して提言するんでしょう。この事業というものは、こうやって向き合っていくべきなんだろうという提言を出せるのが本来業務というか、社会的立場であれば行政の所管であるところの事業を、リニューアルする事業を行政の担当者がやっているわけじゃないですか。そこで居住している本来主権を持っている区民がそれに対して見解を述べているわけでしょう。こういう業務をさまざまところでやっている技

	術者としてコンサルが関わっているでしょう。この三位一体となって、この事業は次こうやっていくべきじゃないかということが提言書なんじゃないかという認識なのです。
⑦	でも、そういうふうになっているんじゃないのかな。
④	その三位一体であるべきそれが三位一体になっていないということを私は話題としました。それからもう1つは、この中の、確かに本来業務でやるという行政の部署があるわけだから、その人たちがやらなければいけないということ。そこだけ切り取ったような書き方をしてしまうと、提言書がニアリー要望書になるということ。将来はやっぱり一緒に調査もしたり検討もしたりということになって、マネジメントも将来一緒にやるという新しいステージをつくらうと思ったら。
⑦	それは提言Ⅲじゃないですか、まさに。
④	そうですよ。僕は前文がそうだと思う。
⑦	提言ⅠとⅡは具体的な、例えば整備の話とか、公園を将来どうしようとか、そういうものについての提言。提言Ⅲはまさに取り組みについての提言というふうに理解しているんだけど、それではいけないのかな。
④	わかって頂いたうえでそういうリターンを頂いているのか。それとも、私の言ったことは受け止めてもらえないのかもしれないなといま聞いていて。
⑦	理解できていないのかもしれない。幹事会として入れていますよね。
④	幹事会として要望するんじゃなくて提言というスタイルでいこうということが合意されていた方向じゃないですか。だから、それになるために応援するとすればここにポイントがあるのかなと言っているだけなので。僕の好みを言っているわけではないので。みんなが言っていたやつだと、これにはちょっと課題があるんじゃないかと言っているだけなので。
⑩	なんでこんなに時間が。
①	コピー機が調子悪いみたい。
⑫	まだ前の3ページ分しかないのですが、でき次第、持ってきます。
④	ありがとうございます。
①	では、④さん。
④	始めますか。では順番で。提言書と書いてあることは、ほかのところの選択肢であれば事業名を書いて、提言書と書いてある形があったけれど、これはこのほうがよろしいですかという。
⑦	僕はこれは「提言書について」という表書きかなと。区長宛のレターという位置づけだった。1枚目は。
④	それは次の話になってしまいますけど、宛先を区長と出すということは重要なことですか。もちろん区長に出すのは当然なんだけど、区民並びに地域の人たちとか、さまざまな人たちに、地域社会に発信するというのがもっとすてきなことなのかなと思ったりもするので確認したいだけです。いかがですか。
⑦	それはまさに対象としてはそうですよね。区長だけではないですよ。ただ、区長に。
④	それはわかります。責任構造からいけば区長ですよ。それを出していくことのほうが重要かどうか。なぜそう思うかという、これまで説明会や意見交換会でやってきて、対立構造で議論する人があれだけいると。たくさんいるとは思わないんだけど、いると。そのところにまた入っていつちゃうような、そんなもったいなさを感じただけです。

⑩	私は区長はなくてもいいような気がしていて、というのは、幹事会としてこういう提言を発信しますということなので、誰に対してでもいいかなとも思いました。
④	区長には出さなければいけないよ。
⑩	そうですね。
④	名前を出しますか、どうですかという確認だけ。
⑦	なるほどね。これは区長を落としても。
⑰	落としても別に。
⑦	おかしくはないね。
④	誰か、まとめて頂ければ。
⑧	僕はやっぱり宛先がない提言書はおかしいなと思っていて、区長宛に出したということ。でもそれは当然ね、我々が一同となってやるということの中で表現するわけですから、区長に対してそれを表明するという形のほうがいいかなというふうには思います。僕の意見。
④	こういうのは多数決でいくのかな。
⑰	区長宛がやっぱり正当だと思います。それが何らかの形で伝わるのは、それはそれで別の問題だと思いますので。宛先は。提言書という表現をやるのであれば区長宛だと思います。
④	「やるのであれば」のやるかどうか。
⑰	私はやるべきだと思います。
④	わかりました。区長様と書いたほうがいいという意見も明確にあるので、ないほうがいいんじゃないかという意見もあって、これはどう進めるか。最後に決めましょうか。いろいろ見ながら。
⑦	これを見比べながら見ればいいのです。抜けているか抜けていないか。
④	それで、あとここで議論するのは、提言書という今配って頂いたものには前文がついてますでしょう。これは、これしかない。選択肢が他にない。提言Ⅰ、Ⅱ、Ⅲというのを並べますか、後文でこのように書きますかということ。
⑦	むしろ、ざっと読んでいただいて、この文章で本当にいいのかというところをね。
④	皆さん、読んできてくれているんじゃないの。
⑦	いいですかね。
④	それこそ時間をもったいないので。
⑦	それで、「手段」とありますね。一番最後の行。僕はこれね、「参加できる手段」。「仕組み」のほうがいいんじゃない。手段と言うと。参加できるシステムをぜひ検討してほしいということだと思ったんだよね。カタカナだと。日本語で言うと「仕組み」と言うのかなと思ったのですが、どうなんですかね。
⑰	「やり方」とかですよ。やり方ってあまりいい言葉じゃないですよ。機会でもいいかもしれない。
④	⑦さんに進行を頼んでもいいですか。
⑦	いいですか。じゃあ僕、時間を考えながらやります。そこが一つ提案です。僕は「仕組み」という言葉を使ったらどうか。システムでもいいんですけどね。
⑧	「仕組み」でいいんじゃない。
⑦	とりあえず「仕組み」でいいですか。どうでしょうか。ではとりあえず「仕組み」ということで。最後にまた戻りましょう。

	江東区長宛。レターという位置づけになると、提言書について。「について」というのを 入れて、江東区長様というふうにしたらどうかと思うのですが、どうでしょうか。
⑤	「仙台堀川公園整備事業への」というのは入れないということですか。
⑦	「提言書」の前に。入れたほうがいいですね。
⑤	はい。何の話か。
⑦	わからないものね。
⑩	「提言書提出にあたって」みたいな感じなんですか。
⑦	そうそう、そういう。ちょっと待ってください。「仙台堀川公園整備事業への提言書提出に あたって」。
⑧	「提言」でいいんじゃないですか。
⑦	「について」は要らない？
①	要らないと思う。
⑦	では「仙台堀川公園整備事業への提言」。これでいいですか。それで江東区長様。
⑩	⑩さんが言ったのは、「提出にあたっての」という。
⑦	そういうところまで入れるかね。
⑩	後ろにこれがつくのであれば、これは提出にあたっての区長へのお手紙という意味合いな ので。
⑦	そういうことですね。提言書の提出。
⑩	「提出にあたって」みたいなことが書かれているのかなと思ったので。
⑦	まさにそのとおりですね。
⑩	そんなタイトルかなと思ったんですけど、ちょっと長いですよ。
⑦	長いんですよ。それで、「仙台堀川公園整備事業への提言」。
⑩	提言だと、この3つの言葉にきつとなっちゃうと思うので、提言書の提出にあたって。
⑦	「提出にあたって」と。そのほうがいいのかもしいね。
⑧	でも、提言は書いてあるんでしょう、ここに。実際は。提言が中に盛り込まれているもの を区長に出すわけだから、提言書そのものだ。
⑤	「提言書について」とかではだめなのですか。シンプルに。それだったら提言が書いてあ ってもいいし、お手紙でもいいし。
⑦	「仙台堀川公園整備事業への提言書について」。
④	次のページというか、構成との関係で決まるんじゃない。その次はこれ。
⑦	次はこれですね。これは提言書の表紙。まずこれがあって、レターがあって、提言書がこ う、1セット。
⑧	同じものが入るというわけですね。
⑦	入ります。というのは、こっちはこれで別々に動いていくので。提言Ⅰ、Ⅱ、Ⅲというの は普通はこんなのは入れないで、ただ表紙だけだと「への提言書」とやって下側だけなん ですけど、スペースもたくさんあるし。この表紙ね。
④	これとこれがくっつくんですか。つながって読まれる前提ですか。
⑦	別々です。独立。それで、区長には別々にして両方を提出する。こういう提言書になりま したと。

④	区長だけが見るペーパーですか。
⑦	これはね。レター。だから、区民の方々へのものはまた違う表書きが必要だと思うんですけど、それは後でいいかなと。そういうつくりです。作り方はいいですかね。そういう。次に、あと 45 分。提言書。体裁がいろいろ趣味の問題があるかもわかりませんが、本質的におかしくなければこれでどうですか。いわゆる表紙ですね。表紙。仙台堀川公園整備事業への提言書。そして、明日の日付で幹事会の名前があると。
⑫	こちらの提言書というのは、イメージとしては区長宛ではなくて。
⑦	そうですね。提言書そのもの。基本的には行政宛なんですよ。宛先は常にね。じゃないんですか。
⑥	2 ページ目の下のところで区民について言及はしてある。
⑦	そうです、そうです。この提言書そのものは、先ほど④さんが言われたように、まさに行政にもそうだし、区民からいろいろ言われているし、そういう人たちに応えなければいけない。出しますと言ったわけですからね、意見交換会でもね。だから、そういった意味では提言書そのものは行政と区民に対する提言ですと。区長、区に提出するときにはこの表書きをつけますと。レターをつけますという、そういう構造ですけども。
④	レターは置いておいて、これの表と裏で、いま下のところで言っているのが、最終提案の検討に向けた提言書という形になっている。これについての確認を今したのね。
⑦	どうでしょうか。
①	私はこれで問題ないと。
⑥	提言Ⅰ、Ⅱ、Ⅲのこの文言は。
④	それはまだ。
⑦	これはいいですよ、変えても。
①	前文のところはこれで、まさしく私たちが最初の3行は。
⑦	それで幹事会の構成を説明して。
⑫	資料を横目で見ながらこっちのほうを。
⑦	そうです。
⑫	意見がある人は言うと。
⑦	まさにそういう。幹事会の回数は9回でいいんですよ。
⑫	今日で11回目。
④	今どういうふうに見ているかというのは、この作業も同時にやっていますよね。最後のペーパーがあるのでちょっと見てもらっていいですか。今、六小の子供たちを入れ込む作業をして、ここから読み取れるものを書いた。青に書いたとおりの。赤いのはタイトルから読み取れたやつ。こういった情報を入れ込むという形でよろしいですか。もう1回説明しますか。
⑫	いや、時間がないから。
⑦	数字。○が連なっているところを入れて頂いたらいいかなと思って。これはまさに子供の意見とお子さんの保護者なんですよ。こんなふうにやったらいいというのを書き込んでいる。
①	「〇〇名」についてはうちの事務局にやらせてもらって、「全体では〇〇や〇〇といった使い方が多い傾向でした」だけはちょっと選んだほうがいいかなと。私たちの恣意的になら

	ないようにと。
⑦	「全体では」というところですね。それはこの資料の何ページですか。
①	それはどこから。
④	<p>もう1回説明しますが、今日この資料をお配りしているのを手元に持ってもらうことができればすぐ終わらせられることなのです。このところで、六小の資料が、六小の子供たちの絵日記を今入れて傾向をつかんでいます。傾向のつかみ方について、今タイトルは全部入っているのですが、タイトルだけから言わんとしている公園に対するイメージを、こういうものがあつたほうがいい、こういうことをしたい、これを区別して把握するという作業をやっている最中です。これで1/4。</p> <p>2枚目のこの顔がありますよね。これが今出てきていた情報を傾向で似ているやつを見つけるのにおいては、ナチュラルなやつからアクティブなやつに上から下まで並べなおしてみておりますが、今の自然をそのままにするというような行為。これは行為なのか。池をきれいにする、魚が来る、さかな係的に過ごす、コイを放す、こういう自然にかかわる行為をやりたいというところから、下のほうではみんなでボール遊びと。そのためにはこういうような空間が欲しいんだ、こういうような在り方がいいんだというのが青で書いてある。こういう把握の仕方をしています。</p> <p>大人たちが言う、あるいはこれまで統計的に「これが何人、あれが何人」ということについての表現がどこかで必要なら、これを、こういう情報をベースにそのデータを出していくと。そういう方向でいいかどうかだけうかがいたいと思います。</p>
⑦	これはまさに今の方向性でよろしいかと思いますが。
④	いいですか。
⑦	文案はなかったですよ。ここにはなかったですよ。
⑥	小学生たちの意見を取り入れるという文案ですか。
⑦	この全体では。
④	「はじめに」のところで、この子供たちの絵日記をどう読むか伝えようという文章があつたでしょう。
⑧	「今回の意見交換会に参加されなかった年代の中で」。
⑦	文例がすでに提出されていなかったかなと思っているんだけど、特に提出されていませんね。文案が。これはつくっていただくしかない。
④	だから今の説明を、こういうことを踏まえて数字になるところは数字で欲しいと。表現をするというのでよろしいですかと。
⑦	数字よりも代表的な。代表的なもの。「こういったような」という象徴的なものはないんですかね。
⑧	これではだめなのか。
④	こういう作業をして、事務的な話については明日までには非常に無理だけど、こういうものも大にらみしたときにこういう構造になっているということを伝えればいいということ。
⑦	はい、いいと思いますけどね。
④	それでいいと言ってくれればやります。
⑦	どうでしょうか、皆さん。いいですよ。要するに雰囲気、傾向が伝わればいいわけで

	すよね。お子さんとか、それから保護者の方。
④	今のやつでどうなのかというと、大変に今の自然というか、生き物に触れるということに対する願い、喜びとか、その表現は大変に多かったということはここからは言えますよね。そうではない小さいやつでもこんなことがありましたと。バランスを欠いてはいけないので、それは配慮しながらこの作業で見えることを書きます。
⑦	それは④さんのところでいいですか。お願いして。
④	もちろん。
⑦	あと、ございますか。ここで一番最後に、「江東区は本提言を受け、区民の意見を最終成案、さらに今後の計画や事業に反映されることを切に望みます」と。これは要望書ということになる？
④	わざわざこれを入れなければいけないのかと。一番最後の文章の主語を「江東区は」と。「修正案に向けた提言書を作成します」で終わっているわけだから、これでいいんじゃないのと僕は思ったりします。
⑦	なるほど。どうでしょうか、皆さん。
⑩	「提言書を提出いたします」で終わり。
⑦	どうですか、皆さん。1行、切ると。いいですか。では、切ります。削除。これは最終化しなければいけないので。いいですか。この最終化はどなたがやってくれるんですか。
④	最終化は⑤さんと私がやるという認識でずっと。
⑦	それでいいんですか。わかりました。
⑤	すみません、もう1つ。小学校の次に支援センターの意見について列記されているところはまだ「〇〇」となっているんですけども、こちらについても同じことでいいですか。
⑦	同じというふうに理解。
④	ちょっと心配しているのは、「本当かよ」と言われたときの整理というのは追いつけて後でやりますが、それを根拠として齟齬のないような表現に任せて頂くということによろしいでしょうか。
⑦	そうですね。お願いします。よろしいですね。ではP.3に行きます。
⑫	ちょっと待ってもらえますか。ページの一番下に、今日まとめている案だここに幹事一同という言葉が入っているものもあったのですが、こっちのほうにはここに「幹事一同」を入れる必要はないという認識で。
⑦	というのは、提言書の表のページで幹事会と書いてあるから。
⑫	わかりました。私もそれでいいと思います。
⑦	では次に行きます。P.3です。1が「はじめに」で、2が提言ということで具体的な内容は以下のとおりですと。提言I。この「道路・公園・河川が一体となった検討を行ってください」という、これでいいのか。他に言い方があるわけですよね。
⑩	最初の。それはこれを見ればあれなのですが、「一体となった検討」というのが。
⑧	ちょっと意味が伝わらない。中身がわからない。
⑩	現状でも一応、一体。プロセスは別個にやられているけれど、出ている図面は一体なんですよね。だから、ちょっとわかりづらいかなという。
⑦	これでいくと、この案がありますよね。提言書のP.1のこれ。この中では例えば③？
⑧	③が一番具体的かな。

⑰	僕は結局こういうことかなって、③は私が書いたんですけど、具体的な内容を示していません。①、②は「一体化」という言葉で。
①	④もわかりづらいですね。
④	この課題解決させる方法というのは、受け取り方自由な言葉ですよ。いったい何を具体とするかというので、今の事業の進め方に対して反対の人は自分の関心のところだし、今の事業を進めようと思っている人は、道路を広げなくちゃいけないという課題だと思っているし。僕は③が一番あいまいな表現かなと思います。
⑰	そうかなあ。
⑦	課題を解決することが要望だと。いろいろな課題があるだろうけれども、公園の価値を減らすことなく課題を解決してくださいということでどうでしょうか。
⑰	本当は、最初は公園の面積と思ったのですが、面積と書いてしまうと1平方メートルたりとも削ってはいけないというふうに。そこまではたぶん。多少の削りは大丈夫なので、そうすると何か適当な言葉がないかなということで「価値」という言葉にしたのですが。
⑨	私は、提言Ⅰで「さらに価値のある」。もともとのやつですよ。「さらに価値のある道路・公園・河川の一体化」で、2番目が「さらに魅力ある道路」。だから、「さらに価値のある」というのと「さらに魅力のある」というのと、私としてはある意味、同じ意味的にとらえてその違いがよくわからなかったので、提言Ⅰを「仙台堀川公園の修正案の課題」ということで、2番目を「さらに高めるため」という2つに。これもたぶん、もともとのやつも今ある価値を大事にしようということと、2番目がもっとよくしようということだと思ったので、1番目を課題にして、2番目をもっとよりよくという言い方にしたのは私の④と③かな。2のところの③。
⑦	これは全体にかかわるから、ちょっとやっちゃいましょうね。
⑰	これって、道路の幅員と公園の面積とか幅の話と調整してくださいということが提言Ⅰでうたわれている内容かなというふうに私は理解して、そのうえで提言Ⅱでは、もっと価値のある緑の話とか色の話とか水辺の話を検討してくださいと。Ⅲは、その検討のプロセスの中で区民の参加する場を確保してくださいというふうな理解で、私はこの文言を書いています。
④	この公募に際して、さっきもちょっと紹介した、「公園の魅力向上と地域課題の解決につなげていくために」という、その地域課題というニュアンスを③のところに表現されている言葉には入って、その課題って地域課題なんだろうというふうに理解してⅢをまとめられるかと思ったんですけども、これまでこのプロジェクトはこの3つの要素を一体化しようとして。そして、その中に電線の話も混ぜ込んでくると。そういう展開になっているわけだけど、そういう意味で言うと、募集したときの言葉との整合で言うと②が、「地域の価値を高める」というこの表現のほうがわかりやすいかなという気がします。
⑩	気になっている言葉は、③に関しては「価値を減らす」ということがちょっと気になっていて、工事をすることが価値を減らすことになってしまうのかという、ちょっとマイナスなほうに向いてしまうような気がしていて、④に関しては「課題」というところで終わっているの、課題をどうするのか。その後のどういう言葉のつなぎ方をしたらいいのかというのがちょっとわかりづらいなとは思っています。
⑨	問題はその下なんですよ。前のやつだとⅠ、Ⅱ、Ⅲがあって、その下に検討でやるとい

	うこと。前はたぶんひし形だったと思います。であって、これが今回のやつでは全部平準化されて I-1 から I-6 までになっていて、前のやつだとそもそも課題的なことと道路の話と組みの問題、仕方みたいなことだったので、修正案の課題というくりにしたのですが、この提言 I というのは下に書いてあることだから、これで I-1 から I-6 までのくりの表現ですよ。
④	どちらから考えたほうが良いという意図？ 発言の意図がよくわからなかった。
⑨	だから、今はこのタイトルだけを問題にしていますけど、要は、下の話があって、それのくくりとしてのタイトルなんじゃないですかという。下の I-1 から I-6 でいいのかなというか。そこがあって上に振り返らないと、タイトルだけの話をしても違うんじゃないかなという。
④	⑨さんが言った議論も重要だと思うけど、その前に僕は⑩さんの言った議論のほうを優先すべきだと思う。3本を立てるなら、その3本がどうなのかという議論を、建付けのことを共有して、そして⑨さんが言ったことにも配慮するという落とし方が。
⑩	でも、建付けの話はだいたい前回のときに合意はおよそ取れているんじゃないですか。
④	そういう議論で、結局、⑨さんはどういう意見なのかをちょっと。
⑨	建付けについては私は問題ないと思う。
④	下と見たときにどれがどうだと。
⑨	私は読み込んでいないのでわかりません。
⑦	さて、もう1回ちょっと戻りますかね。提言 I は1から6まで具体的に検討項目として挙げていますよね。これとの絡みでいうと。
⑧	要は、公園面積を減らさないというか、そういったご意見が意見交換会場で多かった。そういったことを受けてのいわゆる現状の道路と公園の面積というか境界線のところをどうするかという話がこの1番の中身だと思うので、⑩さん案の部分で僕はいいと思っている。
⑦	③ね。
⑧	だから公園の価値って、⑩さんがおっしゃったように公園の面積云々というのが本来なんだけれども、そうじゃなくて「価値」という言語に置き換えて、これを減らすということが多くの意見として受け取られているので、今の整備案が。だからそういうことではなくて課題解決、今の3つの問題解決をここで図っていきましょうというような、ここで図ること、検討することというのが③なので、これが一番下の1～6を受けているんじゃないかなというふうには思いますけど。
⑦	どうでしょうか。僕も③がかなり具体的にイメージできる。解決する方法を検討すること。ないしは、減らすことなく課題を解決すること。そうやってしまうと、より直截的ですか。ちょっと短くしたいなという。③ですよ。「価値を減らすことなく、諸課題を解決すること」。
⑩	はい。それでも別に。
⑤	やっぱり「減らす」という言葉がちょっとネガティブな感じが。私もそう思って。
⑪	私としてもそこはちょっとネガティブがあるので、この中から1つ選んでくださいということであれば、個人的には2番です。
⑧	いやいや、一体化で価値を高めるとするのは、今の計画そのものが一体化で価値を高めようと思って計画したんだけど、そうじゃないよという意見が多かったわけですよ。実際

	は。だから、我々の意見は、意見というか提言するならば、その区民の意見を受けてどうだということの一つ1番で言うておかないと、それはちょっとまずかろうというふうに僕は思いますけど。
④	僕も今の⑧さんの意見には賛成なんですけど、その見解であればこそ、僕は2番を選んでおいて、その下の具体的なI-1～I-6で明確にやるべきことをシャープに言う。そのほうが、これをやっていないから価値が高まっていないんだと。もっと強烈なメッセージになると思いますよ。
⑧	一体化されたから今のようになった気がするんですけどね。そういう受け取り方が、読まれ方がちょっとそこら辺は違う方向に読まれてしまう可能性があるかなというふうには思っているんです。
④	5番は？ 一体化がクオリティが高くないよということ。
⑧	本来は、そこまで読み込めばそうなるんだけど。
④	いや、⑤ですよ。①もそう。
⑦	一体化されていなかったよねと。道路が優先されちゃったよねという。
⑧	いやいや、一体化という意味がね。本当は公園のことをやろうとしているんだけど、一体化で一緒になっちゃった。それで計画されているという読み込まれ方がされちゃうじゃないですか。要は、公園整備計画なのに道路も含めて一体工事になっちゃっているよって。それをやってくださいみたいに読み取られちゃう。
④	僕は⑧さんの言っている趣旨には大賛成。でも、そのことを明確に言うというのは、この短い文章の中では僕は難しいとされていて、その下のところのI-1からI-6まで、やらなくちゃいけないことをここでいかに明確にしておくかということの役割分担をしたらいかがでしょう。
⑦	②はね、一体化により地域の価値を高める。低めちゃだめですよと。逆に言うともね。そういうことを言っているわけですよ。だから、この読み方としては、価値を高めるんですよ、それはどうしてそんなことを言うのか。実は、基本計画修正案では地域の価値を高めていなかったんじゃないかというふうに思うので、今回の提言では価値を高めてくださいと。こういう理解で、僕は②でいいんじゃないかなと思うんですけどね。価値を高める。
⑩	「一体化」に代わる言葉ってないですかね。「一体化」にたぶん引っかけちゃうのかなと思う。
④	ちょっと付度という言葉がいいかどうかかわからないですけど、「一体化」という言葉をこの計画上さんざんあちこちで使ってきていますよね。ということは、それに寄り添いながらそうじゃないだろう、きちんとやっていなかったじゃないかというメッセージで逆流させるほうが、行政の中の議論には乗りやすいんじゃないかなと私は業務上、思ったりもしました。
⑧	僕は、一体化という言葉をやうまく使って行政が進めてきたようにずっと思っていたので。
⑦	いや、それはね、たぶんそうですよ。
⑧	そうだから、だから区長も、読まれる区民の方々も、この第1番目に書いてある話は何だということに僕はなると思う。
⑩	ちゃんと中身まで読み込んで、この計画のことをわりとよく知っている人は、今の②の文章でも意図していることはわかると思うんだけど、区民に出すとするといろいろな人が見

	るわけですよね。そうすると、提言の言葉で何をしようとしているかがある程度具体的にイメージできないといけないと思うんですよ。そうすると、価値を高めるといったときの一体化という言葉が、もうちょっと何かよい言葉にならないのかなという。この1センテンスだけ取り出して見ちゃうと、何が課題で何をしようとしているのかがすごくわかりづらいなというのが僕の認識だったんですよね。
④	僕は今の件で、行政的にこれまでの計画でずっと使ってきた言葉じゃないですかというように言い方をしましたけど、行政的にはどうなんですか。いま何か別の言葉にしたほうが話題にしやすいでしょうか。
⑥	具体的にするならば「一体整備」という言葉を我々も使って、一体化というとその敷地全体を一体的に使うと考えてしまう。
⑰	そうか。「地域の価値を高める一体整備にしてください」とかいう。
④	なるほど。
⑩	それならいいかも。
④	それならいいですか。
⑦	もう1回、すみません。
⑰	「地域の価値を高める道路・公園・河川の一体整備を行うこと」とか。道路、公園、河川というこの順番がいいのかどうか。
⑧	どうしても「一体化」を使わなくちゃだめ？
④	ちょっと待って。もう1回。
⑰	「地域の価値を高める道路・公園・河川の一体整備」。
④	一体整備を何？
⑰	を行うこと。
⑦	順序はやっぱり道路じゃないよね。公園、河川、道路だよ。
⑤	これはたぶん区が言っている順番をそのまま引用しています。
⑦	だけど我々は仙台堀川公園事業への提言だから。
④	⑦さんの的には順番はどう。
⑦	それは公園、河川、道路。それはいいよね。
①	それはいいです。
⑰	「一体」を除いちゃってもいいのかもしれないですけど。
⑧	僕は「一体」は除いて、今の順番だとすると「地域の価値を高める公園・河川・道路の整備を行う」。
⑦	それでもいいじゃない。どうですか、皆さん。
④	行政的な。
⑧	「一体化」はどうしても引っかかる。
④	ここで行政に発言してもらいます。
①	いや、別に一体にこだわらないから。もちろん一体整備というのは変わっていないですけど。
④	こだわるんじゃないですか。
①	別に。

⑧	提言内容は、一体整備をするとかね、そういうことなので、提言としては。
⑦	いいんじゃないの、行政的にも。
④	ちょっと待ってくださいよ。これは重要だと思います。今日はそういう発言をしっかりと確認しなくちゃいけないと思っています。
⑥	もともと大規模公園リニューアル委員会でもこのコンセプトで来ていますので、そこはゆずってはいけないところかなと思いますので、それぞれ課題を抱えているものを一体的に整備して、同時に整備してやっていくという考えは行政としてはゆずれないと思います。
⑧	では、今の言葉で「一体」じゃなくて「同時整備」でもいいですよ。今おっしゃった「同時」でも。だから、それぞれに対して問題解決を一気に図るという意味で、1つの体にしてやるから境界線が無視されるのであって、同時にそれぞれを考えて同時にやられるのだったら別に問題はない。皆さんそういう考え方だから。課題を抱えている道路だったら道路で、まず考えるということが、まずそういうふうな考え方でやってもらうと。
④	⑧さんが言ってくれた「同時」というのは時間があるでしょう。全然同時にすらなっていないでしょう。道路の計画と公園の計画は。同時にすらなっていないから、一体化になっていないのだけど一体化という言葉を使っているというところに課題があるんじゃないですか。だから本当の一体化をやるなら、同時に検討するのだと。
⑧	そういう意味もありますね。同時にでしょう。同時にと考えてもらえれば。
①	「同時に」というのはわかりづらいかな。
⑦	わかりにくいね。僕はむしろないほうがいい。
④	私が申し上げたことを整理すると、「一体化」という言葉を使いながら一体化の検討をしていないでしょう。本当の一体化をやってちょうだいよということを話題にするというのが、同時でもあり、他の土地だって考えながらやればいいじゃないという、もっと広い一体化だってあるでしょう。これがI-2にそんなことが書いてあるわけですよ。具体的に取得できそうな用地を。これは⑨さんが時々言ってくれたように都市計画決定公園があるんだけど、それをなぜ何も触らないのかというあたりがI-2でしょう。
①	いや、それはまた。
④	そこまで書いて大丈夫かという。
⑧	それはほかで書いてある。
⑦	⑧さんね、「一体化」を使ってもいいんじゃないかと思うのは、⑰さんの言っているのは「地域の価値を高める公園・河川・道路の一体整備を行うこと」。整備を一体的に。
①	さっき④さんが言っていたように、全部を別々にやっているんだよという言葉から来れば一体的にちゃんとやりなさいよということであれば「一体整備」と使っていいかなと思うんです。
⑦	枕詞がつくから。「地域の価値を高める公園・河川・道路の一体整備を行うこと」と。だから、ばらばらでは困るんですよという。しかも、地域の価値を高めなければいけないというのだから、そうするといいんじゃないですか。どうですか、他の方。⑱さん、どうですか。
⑱	いいとは思いますが。
⑦	どう、⑧さん。こだわりというのはなかなかぬぐえないけどね。
⑧	こだわりです。こだわりというよりも、たぶん区民が一番こだわるところだと思いますよ。

⑦	だからそれは。
⑧	境界線が、今の境界線が内側に来てしまったというのは、一体整備がゆえにそういうふうになったという認識がある。だから、さっきの⑥さんの言葉で同時みたいな形で使ってもらったほうが。とにかくそれぞれの問題を考えるというふうなことで、一緒に動かすということであれば別に問題ないと。
⑦	今のでそういうふうに読めない？
⑧	読めないです。「一体」というのは1つの体にする。道路まで1つの敷地内として考えて一体型として整備を図るというふうに普通は読める。今までそういうふうに来てきたから。そういう考え方で進めてきたから。
⑦	いやいや。
⑧	いや、⑦さんの考え方はわかるんだけど、そうじゃないすごくナーバスな言葉なんです、「一体化」って。
⑦	OK。どうですか、他の方。⑨さん。
⑨	「一体」は入らないほうが、反対する人は「一体化されちゃったからこうなっちゃったんだ」という考えがあるとは思いますが。
⑦	行政としては「一体」が入らなければ絶対にだめだと。
⑪	行政としては一体整備を行うという。それぞれの現状、幅員を守ってそれぞれの課題を解決するというのではなくて、一体整備で行うというのが今回の事業のコンセプトなので、そこは行政としては絶対の部分なので、この文言として「一体」と入れたほうが行政の立場を反映した提言になるとは思いますが、反対派の人はそこが気になるというのもわかりますので、私の立場も含めて発言すれば、一体整備と入れたほうが立場としては望ましいというところで。
⑨	ただ、大勢には影響はないと思う。地域の価値を高める公園・河川・道路の一体整備を行う。気になる人は気になるけど、大勢には。具体的なことではないので、ここに書いてはないので、土地の一体整備なので、むしろその下の内容のところのほうが具体的なことを書いてあるので引っかかるころはあると思う。
⑦	ではとりあえず②の。「一体」を入れるかどうかというのは後ほどにしましょうか。とりあえず②でいくと。これはこれでいいですね。②でね。次に、提言Iのところは②になりまして、ここは上位計画が江東区長期計画後期。これは何年何月制定？
⑥	平成27年3月。
⑦	それから緑と自然の基本計画、江東区、平成29年7月制定を踏まえ。
⑪	これは29年ではない。
①	平成19年7月が。
⑦	これは⑧さんが言われたことで、僕もそうなんじゃないかなと思って、「～を踏まえて以下の取り組みがなされることを区民は願っています」というふうに入れたんですね。それについてどういうふうに思われますか。それから、道路が。これは⑩さん、「道路だけが優先されて」と「だけ」が書いてあったのね。それはちょっと強いよなと思って、「道路が優先され公園が犠牲になっている」という書き方に変えました。 あと、I-1からのところは、これは④さんの最初にあったものを基本的に踏襲ですよ。
④	これは⑩さんのやつなんですよ。最初は。

⑦	でも、項目的には同じじゃなかったですか。
④	それで、電線の地中化を入れたというところだけが僕がやったのかな。あとは⑩さんに。
⑦	<p>それで、これは⑩さんの顔を思い浮かべながら、I-4ですが、「合理性」というところを「危険性」という言葉を使ったんですね、あの段階では。でも僕はよく考えて、地中化、大水災時に地中に海水が浸水する可能性が高いゼロメートル地帯での合理性。要するに、理にかなっているかかなっていないかと。やっぱり「合理性」という言葉のほうがいいのかなと思って、こういうふうに「危険性」という言葉を「合理性」に変えています。これは⑩さんの了解を取っていませんけれども。</p> <p>それとI-6。これはここで議論していただきたいなと思うのですが、計画検討と共有と。オリジナル案は、公園面積最大化かな。それから、道路機能重視案。それから3番目に折衷案という3つになっているんですね、このオリジナルは。⑥さんも、その案でというふうにコメントされていますよね。それで、僕は考えたら、比較としてはこの維持案と。要するに、公園面積最大化案というのは、修正案というのにはまさにあの時点で区が考えた公園面積最大化案なんだろうねと。たぶん今後も、最終計画をやる時に、行政の今までの流れから言えば、できるだけ区民の声を踏まえて公園面積を最大化する案をたぶん考えるんじゃないかなと。その案と、公園面積はいじらないでやった案、それと道路を重視した案の3つの比較じゃないかと。そのどれがいいんですかという。</p> <p>だから、公園面積最大化案と折衷案というのはたぶん同じことを言っているんじゃないかなと思いましたが、面積、公園面積を現状にした場合にはこういうふうになりますと。道路機能を重視した場合にはこうなりますと。それから、公園面積を最大化した場合にはこうなりますと。こういう3つの案を比較検討したほうがいいんじゃないかというふうにかんがえまして、このようにやりました。⑧さんは、この案ですね。3番は折衷案という。</p>
⑧	3番は残していたんです。
⑦	残していたんですね。そういうことで、そういう理由で変えてみたのですがどうでしょうか。
①	公園面積最大化案というのがちょっとわかりづらいかな。折衷案と書いてあればあれなのですが。面積最大化案という言葉だけでいくと、もっと広げるになっちゃうとか。
⑨	私がここで前にあれしたのは、いろいろ書いてある選択案みたいなものを。
⑦	何ページ？
⑨	<p>P.4。下の赤字がほとんど私の書いた文章なのですが、上からいくと、これは本当に一体化整備の成果として自転車と歩行者の機能を分けて公園内に入れる場合の分離を検討する。「一体化整備の成果として」と、これはこんなことをここでうたっちゃって、決まっていなくていいのかなと私は。幹事会としてというのがあったので、あと「平成27年度の交通量に基づき」というのは、この間、市民というか有志で交通量調査もしていますし、ここで「27年度の交通量調査に基づき」と断定しちゃっていいのかというのもあったので、「減少している車両の周辺の状況を予測して取り外し可能なガードレール」。これはどなたかが言っていましたけど、安全寄りの検討を行うみたいなゆるやかな形にして、2番目についても、これは難しい言葉がいっぱい入っていたので、「線形」とか「ランプ等の導入」とかあったので、もう少しわかりやすく「減速効果のある構造を取り入れるなどの検討を行う」みたいな言い方をして、あと⑩さんの顔が浮かんだところのゼロメートル地帯では、</p>

	<p>私は「危険性」というのは⑩さんの言うとおりに入れて、ただし、発生割合なども踏まえたリスクを明示したうえで検討するという形で、だいたい文章を短く、わかりやすい言葉に全部置き換えています。</p> <p>それで最後の6番。さっきの公園面積最大化のところは、私はもっとシンプルに①現状維持、②道路機能重視、③その他複数の検討案で区民の方々にも理解できる比較検討を行うという言い方にしています。</p>
⑦	わかりました。そうすると、まずI-1ですね。I-1がP.4の⑨さんの案では減少している云々ですね。これがね。
④	今はどこまでが議論の対象ですか。
⑦	今はI-1です。
④	提言I全部でいいですか。
⑦	提言I全体でどうぞ。まず。
④	この上のところで、「区民は願っています」という前書きがありますね。これは必要でしょうか。
⑦	ということね。
④	じゃあどうするのかと言えば、この上位計画を踏まえて行うことというのはやっぱり伝えたほうがいいことですよ。あとはちょっと要らないんじゃないかと。ないほうがいいんじゃないかと思います。
⑦	どうですか。私もそれでもいいと思います。
⑩	はい、別に。
⑦	いいですか。
⑩	はい。
⑦	「踏まえて行うこと」ということですかね。
④	修文するとしてもそんなに。あと、いま⑨さんが言ってくださった中で、行政における工事に着工するフレームは現在、来年度からという想定があるわけですよ。どうなんでしょうか。
①	そうです。来年度から。
④	もしそれが前提としてあるならば、⑨さんがいま説明してくださったP.4の最初のところ、「減少している車両などを予測し」というのではなくて、改めて早速何かやって、それに基づいてとか、共有できる何かベースをつくらないと、これは書いているだけであいまいになっちゃうと思うんですね。27年度というのが不適合であるならば、もう早速やっていたら、それをもとにと言って双方がスタートできるポイントを明確にしたほうがいいんじゃないかと思うのです。これは⑨さんのやつに、基本的にいいと僕は思うのですが、「予測し」という言葉をシャープにしたほうがいいというそういう意見です。
⑦	それは、僕も基本的にそういう認識なのですが、ここはまさに検討項目をね、こういうことを検討してくださいと、しなきゃだめですよと言っておいて、それでプロセスのところだね。
④	私が言っているのは、27年度という明言をやめましょうという意見は僕はいいと思うんです。けど「予測」という言葉ではなくて、交通量調査をやり、それに基づきとやっておかないと、書いた意味が発効しないんじゃないかという趣旨です。

⑦	減少している車両など。
①	27年度は、こっちの数字ですよ。車両自体は20年度より減っていたんだっけ。
⑧	かなり減っている。
①	そうですね。
⑫	要は、⑨さんの意見をフォローするような形で言うと、今の交通量だけじゃなくて将来的にその道路がどういった交通量であるべきかということ踏まえた計画にしてくださいということになると思うので。だから、いま交通量を測れということではないですね、きつと。測ったほうがいいでしょうけど。
⑧	要は、計画交通量を出しなさいということだよ。将来予測も含めて。今の傾向でちゃんと測りなさいよという意味でしょう。「予測」という言葉は。
⑫	ということをつぶん書くということだと思ってるので、どういう書き方がいいか。
④	根拠をどこに持つかということとどこから考えはじめるかということですよ。減少していくということを根拠として議論するということをお願いして、⑨さんは書いてくれているんじゃないの。
⑨	減少しているし、今後、大規模な住宅が建つという予測もない中で、ということです。
④	もうちょっと言っちゃおうと、こういう書き方で行政がOKであれば、これでいいかもしれないですね。行政の方の発言をちょっと求めたほうがいいんじゃないかな。
①	取り外し可能なガードレールというのは、今のところないかなと。
④	ごめんなさい、量の話。
①	量の話。
④	⑩さん。
⑩	直接、量には関係ないんですけどね。こちらからしますと、「現況道路を極力拡幅せずに」とありますよね。こういう後に書かれている言葉を想定すると、おのずから答えは一方通行につながる可能性がありますよね。考え方によっては、それは私はちょっとやめてもらいたいんです。「現況道路を極力拡幅せずに、適切な歩道および車道を確保する幅員を検討」とありますけど、現実問題、片側にならざるをえないと思いますけど。これはおのずから答えを考える人はわかると思いますよ。
⑦	これは、⑨さんのやつは上の3行全部を変えるということよね？置き換えるという。
⑧	下のが⑨さん。
⑩	⑨さんの案に賛成です。
⑦	いま④さんが言うのはね、「周辺状況の今後の変化を早期に予測し」とかそういうあれですかね。
④	私はいろいろと言っちゃいましたけど、減少傾向ということ前提として計画するのだという表現で行政が了解であれば、⑨さんが書いていらっしゃることでよろしいと思います。ただ、こう言ったときに、ちょっと変な話ですけど行政から発言してもらいたいんです。
⑫	わかりました。今後の交通量の予測を立てたうえで整備してくださいという書き方にしてもらわないと、区としては、現状、測定日の誤差とか天気の影響とかで、つぶん区としては車両の交通量はほぼ横ばいだと思っています。明確に減少しているというほど減少していないと思っていますので、区の立場として現状を考えるとというのは、将来予測に基づいてという部分を入れてもらう分にはかまわないですが、「現在減少していますので」と書

	いてもらわないほうが私としてはいいなどは思います。
④	このところはいろいろな計画論の出発点になるから、この表現については大変に明快にしてスタートしないといけないと思うんです。いま言ってくれたのは、「減少している」という表現についてはどうしたらいいと思う。このところは、行政的にどういう文章であれば。
⑫	例えば、交通量については「周辺状況の今後の変化を予測し」とかいう言葉で書くとか。「通過車両については」とかいう言葉で。いずれにせよ、主語として「計画交通量については」とかいう形で主語とかですかね。
④	ここが一番重要だと思うんですよ、今日の議論でも。「計画交通量については周辺状況の今後の変化を予測し」ということでみんなが了解であれば、わりとある表現じゃないかなと僕は思っている。
⑧	計画交通量自体が予測してというのは、同じことだよ、きつとね。
④	減少するという前提に立ちたくないはずなんだよ、行政はね。だから、それを主語にされちゃうとというのが今の話でしょう。
⑧	いずれにしろ調べなければいけないという話だから、計画交通量に基づき。
⑦	計画交通量？
⑧	それがわからないのであれば、「車両の今後の変化を予測し」でもいい。
④	どうですか。
⑫	それでもいいです。
④	⑨さんの的には。
⑨	減っているものは減っているという。
⑦	それは車両だけじゃないんだよね、自転車もそうだし、歩行者もそうだよ。
④	自転車は増えているというか、調査していないです。
⑦	あのときはしていないのか。でも、平成 27 年、平成 20 年とこの前の意見交換会でも出ている資料では間違いなく車両、自動車は減り、自転車は増え、歩行者は東西でちょっと違ってくるといふ。あれはだけど、あれが出て横ばいと見ているわけ？
⑫	横ばい。
⑦	根拠は？
⑫	ごめんなさい。あの数字だけを見ればもちろん若干減っていますが、それが減少傾向に、その割合が 4 年後、その数字よりさらに減るかどうかわれれば、そんなことはないかなど。
⑧	4 種 3 級の根拠なんだけど、あれが。20 年度の。そんなことを言われても。これを議論するのはやめようよ。
④	発言はさせてよ。この発言が重要だと僕は思っているから。
⑫	いずれにせよ、1 日 100 台を切るような。だから、将来的にもものすごく台数が減ると区が考えていけば、道路の幅員というのもおのずと変わってくる可能性はありますが、そういった形では区は考えていないということですね。現況の道路で整備するにあたって必要な交通量という形で考えているという。
⑦	来年度着工するとしてね、その道路の交通量の調査、予測するための調査ってやる予定なのですか。

⑫	決まっています。
⑦	例えばそれを書き込んで。そういうのをやってよということよね。周辺状況、住宅のあり方もそうだし、それから今は平成20年、27年とあるけれども29年はまさに民間でやったけれども、そういう交通量調査もやってもらって、そのうえで安全でより合理的な交通の在り方の検討を行うというふうに。これはそういう趣旨ですよ。調査をやってというふうには⑨さんは言っていないのですか。交通量の予測。「周辺状況の今後の変化を予測し」というのは、交通量の変化なのでしょう？
⑨	私は、この新しいものの前にひし形の3つがありましたよね。ひし形の3つのところも書き換えているのです。というのは、各種調査や複数の事業の比較、メリットとデメリットを明示することが必要ですということと、公園削減が出てきて、より将来も踏まえた一体整備が求められますということで、想定交通量、一通などの交通規制の合意、現況変更の規模、工事代金とか完成後の運営規則、規制などということを3つ入れているので、それを踏まえてなのですが、3つはある意味、この前文に入っていると思って下のところだけ話をしているという。
④	交通量調査をやるということを話題にすることを想定しながら書いているのかという質問。この文章。
⑨	当然、私はいろいろなことを再検討しなおすということを前提に書いているので。
⑦	このオリジナルのやつは、27年度の調査結果に基づいてむしろ極力書くようにして。
⑨	そうです。あそこでさんざん言われていたのは、どういう構造でこの案ができたのか。どういう検討をしてこうなったのかということをもさんざん求められましたよね。それができていないので、そこで検討を行うというのを入れた。どうしてこの案が出てきたのか、調査もしていないのになぜこれが出てきたのかと前でおっしゃっている方がいらっしゃいましたが、そういうことです。検討してくださいという。
④	今後の変化の予測というのは何に基づくかというのは。
⑨	今後の変化というのは、交通量もそうだし住宅もそうだし。
④	20年と27年というやつを根拠に予測ということを行っているのか、あるいはもっと調査するということを想定しているのかという質問。
⑨	それは考えていなかったですね。
⑦	このオリジナルの部分はやっぱり27年の交通量調査に基づいて、道路は極力拡幅しないと切り切っているんだよね。オリジナルのやつはね。今の原案のやつは。
⑨	うん。ただ、極力拡幅せずに適切な歩道と車道を検討するって、けっこう矛盾した、できもしないようなことを言っているんで、それはちょっと。さらに自転車と歩行者が機能を分けてとしちゃっているんで、ちょっとこれは責任を持ってない発言をかなりしている、書き込んでいると私は思ったので、検討ですよという。どうしてこんな表現が出てきたのかわからないところなんですけど。
⑦	でも、できるかもしれないと思っている人が多いんじゃないですか。それは。
⑨	「適切な歩道」という言葉はちょっとあいまいですよ。だから、車椅子。2m。
⑫	普通に考えれば、即一方通行なら可能ですよ。ある程度は。それしかないですよ。
⑦	でも、一方通行も実はそんなに道幅が。
⑫	江東区の考えとしてはそうですね。一方通行にしても。

⑦	だから、ここは一方通行と読み込む必要はないと思うんですよね、この段階ではね。
①	それにしても結局、緊急車両とかの考え方があるので、そういうところで最低限のところというのは。I-1のオリジナルの書き方で私は十分に意味はわかると思うんですね。
⑯	意味はわかりますよ。現実性がはたしてということです。
①	適切な歩道、最低限の歩道と私は前から言っていますけど、そういう点ではやっぱりつくりたい。
⑯	それは、おっしゃっているのは歩道でしょう。
①	はい。
⑯	私は一方通行を言っているのです。
①	一通にこれからすぐには。ここから一通になるとは。
⑯	いや、ここに書いてあることを想定すれば、拡幅もしないでね。私もゼネコンにいましたけどありえないと思いますけど。申し訳ないけど。
⑦	そこの言い方は「極力拡幅せず」で、拡幅せずとは言っていない。
⑯	言い方ですよ。さっきの価値云々とありますけど、価値論は本当に、使いやすいけどこれほど難しい問題はないでしょう。それと同じじゃないでしょうか。申し訳ないけど。
④	⑯さんのおっしゃっていることをもうちょっと言葉にしてしまえば、相互通行は保持するという。
⑯	そうであると言うのであれば、できると言うのであれば。現状でね。
④	できるといえるか、文章に、この中に。相互通行が損なわれることは地域の価値が損なわれることであるというような提言をさせたほうが、今の話は明快ですね。
⑦	ただ、そこはそのエリアの方の意見としてはわかるけれど。
⑯	だってエリアの人がほとんど使っているんですよ。前にも申しあげましたように、通行しているのは他のナンバーですよ、他県の。多いのは。それで事故はないし。事故もありませんしね、今まで。見ている、お互いがアイコンタクトを取ってちゃんとやっていますしね。
⑦	そこは。
⑯	申し訳ないけど、もう少し考えて頂ければ結構です。
①	それはですから次のページに、交通に関する検討というのが入っているので、そこにさっきの相互通行という言葉を入れればいいんじゃないかなと思う。
⑦	生活道路としての整備とかね。
①	そうです。
⑯	だけど、相反する話になりませんか？ 矛盾しませんかという。例えばこっち。
①	I-1では矛盾しないと思うんですね。
⑯	矛盾しませんか？ こっちでは生活道路の整備と道路幅員とうたいながら、こっちにはより具体的にね。
①	だから、ここに一言入れればいい。
⑯	そんな簡単な問題じゃないと思いますよ。
⑨	歩道と車道を確保する。それができたら、今の計画になっていない。
⑯	ないじゃないですか。

⑦	だからそこもね、一通についても一通化すれば解決するというふうに素朴にみんな思いますよね。でもそうじゃないかもしれないし。
⑩	いや、だから、もう少し要点を。
⑦	結論がちゃんと出ていないから、それをちゃんと検討するという。例えば一通はだめだとか、相互維持しなきゃいけないとかいう結論は、ここの場でこの幹事会で出せないですよ。
⑩	いやいや、それはわかりますが、これを読んだらそういう想定をされますよというの。
⑦	だから、そこは読み方の話ですよ。
⑩	いえいえ、読み方じゃないですよ。極力拡幅しない、道路幅は現状維持というのが原則でしょう。言ってみれば。「極力」だから絶対にゼロとは言えないまでも。
⑦	検討すること自体を。
⑩	言葉尻で、言葉で逃げられても困るというの。責任を持った表現にして頂かないと。文章ですから。残すんですからね。
⑦	⑩さんのご意見は、一通はだめですというふうには書かないとだめということ？
⑩	そんなことは言っていませんよ。
⑨	そうじゃなくて、「現況道路を極力拡幅せずに適切な歩道および車道を確保する幅員を検討する」というのが、現況の道路を極力拡幅しないで今の必要な適切な歩道や道路を確保できたら、今ごろはもうなっている話で、それができないから問題になっているので、そこをそもそも検討するみたいな言い方のほうがいいんじゃないかという。
⑩	そうして頂けないかと。
⑨	こうなっちゃうと、それができないので今こうなっているんじゃないかと。
④	ちょっと文章を言ってみて。
⑨	だから、それがこれですよ。
④	それが⑨さんが言ってくれたこの文章。この文章で。
⑨	「安全でより合理的な交通の在り方の検討を行う」くらいだったら。
⑦	取り外し可能なガードレールなどは。
④	今言った「安全でより合理的な」というところを生かして。
⑦	そこだけ切ればいいのか。「取り外し可能なガードレールなど」を落として。
⑨	それは取ってもいいですけど、なぜだめなのですか。
①	それは。
②①	取り外し可能なガードレールを、道路幅員を確保したうえでその外側にとるというイメージじゃないですよ。中で取って、すれ違いとか緊急車両が来るときだけ外すというイメージで考えてますよね。
⑨	はい、はい。
②①	そういう形で道路を整備することは考えていないということですね。
⑨	ああ、なるほど。
②①	なので、あくまでも通常時に必要な道路幅員を確保すると。
⑦	これさ、具体的に例示する必要もないでしょう。
⑨	私はそれはすごく有効な手段だと思ったので。

⑦	⑨さんはそう思っているかもしれないけれど。
⑨	だから、取るのは構わないですよ。ただ、なぜだめなのかと。鹿島建設の専門家に聞いた らそれはありだよと言われたのに、なぜだめなのかと。
⑯	こうやるのがありますよ。だけど計画には入っていないという。
⑨	だから、ちゃんとしたものを。
⑳	今は考えていないということ。
⑯	設置できますよ。
㉑	そのうえで、ただ「検討しなさい」ということで入れるということ。
⑦	OK、そうすると。
⑧	ちょっと言ってみてください。わからなくなっちゃった。
⑦	まずこの表題、I-1はどのような文言にするの？
⑧	どれが生かされてどれが死んでいるのかよくわからない。
⑦	I-1の道路の最小幅員化と自転車と歩行者の分離の検討は、どういうふうにするのですか。
㉑	「歩行者と自転車の安全の検討」ということ？
⑦	ここから始まるよね。まず？
㉑	I-1で3つ今、斜め線が入って、「最小幅員化と分離の検討」「道路の最小幅員化と自転車 と歩行者の分離の検討」「歩行者と自転車の安全の検討」。
⑧	道路の最小幅員化と歩行者と自転車の安全の検討。分離じゃなくて、具体的に言わないで、 道路最少化と歩行者。さっきの⑨さんのあれと同じ。歩行者と自転車の安全の検討。
⑦	それで、道路の最小幅員化と歩行者と自転車の安全の検討。
⑧	「と」が多いけどね。そうですね。
⑦	それで、「減少している車両など、周辺状況の今後の変化を予測し、安全でより合理的な交 通の在り方の検討を行う」。こういうことですか。いいですか、それで。
⑧	もう1回。
⑦	表題「道路の最小幅員化ならびに歩行者と自転車の安全の検討」。それで、「減少している ……」で、「取り外し可能なガードレールなど」は落とすと。「予測し、安全でより合理的 な」。
⑧	上の「現況の道路幅員を極力拡幅せずに、安全でより…」ではいけないの？
⑦	そこは、「拡幅せずに減少している車両……予測し、安全でより合理的な交通の在り方の検 討を行う」ということかな。
⑧	だから、「極力拡幅せずに」というのを入れた状態で、具体的に何も言わずに、歩道とか言 わずに、安全でより合理的な交通の在り方の検討を行う。
⑦	今それに、まず上の1行目、「極力拡幅せずに」でしょう。次の「周辺状況の今後の変化を 予測し、安全でより合理的な交通の在り方の検討を行う」。要するに、周辺状況の今後の変 化を予測してくださいよということを入れるか入れないか。
⑧	それは入れてほしい。
⑦	入れたほうがいいですね。今のでもいいですか。「拡幅せずに、周辺状況の今後の変化を予測 し、安全でより合理的な交通の在り方の検討を行う」と。よろしいですね。では次、I-2 については。道路用地の計画。⑨さんのは道路用地の計画になるわけですね。

⑨	そのほうがわかりやすいから。線形と言っても普通の人にはわからないなど。道路用地と言えば、道路のために使う土地なんだなというイメージがわくので、そういう言い方にしてあるということ。
⑦	線形計画というのは、必ずしも用地計画だけのことを言っているんじゃないんでしょう、これ。
①	道路のこういう曲がりとか。
⑦	形とかね。
①	形なんですよ。
⑨	それはでも、「道路を折る」とかいう表現で別に書いてありますよね。道路線形とは別に。別にそんな強いこだわりはないです。わかりにくいというだけ。
⑩	「道路の」と入れれば。「道路の線形計画」だったらわかるのかな。ただの線形計画だと何だろうと思うけれど。
⑦	このオリジナルは「道路の線形計画」になっていますよね。そうするとここは⑨さん、オリジナルでもいい？
⑨	全然かまわないです。私は線形はわからないので。
⑦	どうでしょう、他の方。
⑯	以前のほうがいいんじゃないですか。
④	道路用地の計画。
⑯	そのほうがわかりやすいですね。
⑰	道路用地の計画。あるいは単に道路計画？
⑨	いや、用地なんじゃない。
⑦	どうですか。
④	ここでは用地のことを話題にしているんでしょう。
⑦	だけど、速度抑制効果のランプでしょう、曲線部だから、まさに線の形も言っているんですよ。
④	道路の用地とつくり方の計画ですか。
⑦	そうそう。
⑨	それで私は「道路用地の検討。減速効果のある構造を取り入れる」。
④	道路の用地とつくり方の計画。
⑦	どうですか、⑳さん。
㉑	線形という言葉は区では使っていますが、それが用地に変わっても意味としては間違っていないとは思いますが。
⑦	それで大丈夫？
㉑	それで、減速効果のある構造というのは、ちょっとランプは正直、導入のハードルがちょっと高いと思うので、「減速効果のある構造を取り入れるなど」という表現のほうがいろいろ検討しやすいかなとは思いますが。
⑦	「道路用地の計画」と言葉を変えたときに、そうすると下の⑨さんの言葉。そうするとこの文章のほうがいいのか。もしも道路用地の計画としますね。「道路用地の計画の見直し」になるのかな。それで、⑨さんの「仙台堀川公園……」という。このほうがわかりやすいですか。文章として。それでいきますか。「道路用地計画の見直し」でいいんですね？

⑨	「道路用地の計画」ということに当初はしていました。この上に書いてある「道路用地の計画」。
⑦	だけど、それをどうしてほしいというやつは？ 書き方の問題。
⑩	見直しは見直し。
⑦	「見直し」でいいのかな。「道路用地計画の見直し」で、「仙台堀川公園は……」というこの文章にする。いいですか。
⑧	下側が生きるの？
⑦	下のやつでやると。入れ替えるわけ。いいですか。次、I-3については。これはどうですか。保全の検討。この線形計画の見直して変えなければいけないね。まず⑩さん、どうですか。この文章が生きるとすると、少なくともこの中に入っている「線形計画の見直し」は「道路用地計画の見直し」に変えなければいけないですね。そういうふうに変えると。ここに「工事金額の縮減を図る」とここに初めてここだけ出てくるんだけど、要るのかなという感じはしましたが。
④	この工事金額はいくらなのかという質問は大変に多かったですね。
⑦	やっぱりそうですか。じゃあ、入れましょう。
④	だから、どこが一番多くの金額を食っているのかという説明はされてきてはいませんね。一つの大きな話題として、撤去というのは大きいということを前提として、これはコンサルサイドから出してみました。
⑦	では、いいですか、I-3はこの原案で。
⑤	護岸構造物撤去が入るのですか。「撤去と」になる？
⑦	I-3ですね。
⑤	I-3のタイトル。
⑧	3番目が生かされる。
⑤	護岸構造物を残すことがおそらく大きな樹木の保全になるんだと思うんですね。その分、根を切らなくて済むから。なので、「護岸構造物と大きな樹木の保全」のほうが、工事とかの意味合いとしては合っていると思います。
⑦	本文では、照らした「護岸撤去の縮小化」と書いてあるんだね。
⑤	縮小化なので、護岸を守るということが樹木の保全につながるという意味だと思うので。
⑧	では、③で「撤去」を取っちゃう。
⑤	「撤去」を取って、「護岸構造物と大きな樹木」がいいと思います。意味として。
⑦	どうでしょうか。いいですか。撤去。では、次はI-4。
⑤	これだけ「研究」だったのが。
⑦	「研究」はないだろうと思って、「検討」に変えたのですが。それと、オリジナルはね、⑩さんは大水災時の海水侵入の危険性というご意見だったのです。僕はこういうふうに変えました。これについては代案があるかな。これはどなたの。
⑨	私。
⑦	そうですか。
①	併記するということですよ。危険性を。
⑨	電線の地中化は、リスクを明示したうえで検討すると。これも一連のメリットとデメリットをちゃんとわかるようにしてという話のことなので。「合理性」と言うと、実践的なこと

	も含めてということで「合理性」という言葉が使われたということで、このままでも全然。ただ、メリットとデメリットというところが非常に大事なので、リスクを明示したうえで検討するというのも。そんなにこだわりはないです。
⑦	どうでしょうか。では、原案でいいですか。では、次に行きます。I-5。オリジナルは「関係機関との協議」となっていて、下の文章になっていたんですけど、関係者ならびに関係機関との協議ということかなと。これの「線形協議」もおかしいですね。
⑨	そうですね。私はここはなぜか全然直していないのですが、さっき読んだら、やっぱり「交差点協議」とかやっぱりわからない。
⑦	そのところね。
⑤	交差点協議、線形協議はおそらく警察との協議のことだと思うので、それがわからないということであれば、「交差点協議、線形協議」を「警察との協議」と置き換えるというのはいないのかなと思います。
⑨	それははっきり切っちゃたらだめなの？ 「工事に必要な交通規制や運用の考え方について」。
⑦	そうね。「工事に必要な交通規制や」。
⑨	「一通の導入など」まで。
⑦	どうでしょうか。「利害を伴う沿道の方々や公安委員会との意見交換、協議、調整を同時に行い複数案検討の可能性を」、これは「可能性」じゃないね。同時に行うということですかね。
⑧	複数案を検討する。
⑦	この複数案というのは、さっきの1、2、3なのでしょう、これ。「協議、調整を同時に行い」。どうだろう。
⑩	「同時」が必要なのかな。
⑦	「調整を行い」？
⑧	「調整を行い、検討する」。違う？何かおかしい。
⑩	ここで「複数案」って必要なんでしょうか。わざわざ書いて。
⑦	書いているからね。複数案を検討する際に、これらのことが必要ですよという趣旨だと僕は理解したんですけども。
⑨	「調整を行う」だけで終わらせたら。ぶっきらぼうですか。
⑦	「協議、調整を行う」と。それでもいいかもしれない。どうですか、皆さん。
⑧	それでいいです。
⑦	「調整を行う」。はい。次、I-6。
①	さっきの③の公園面積最大化案というのがちょっとわかりづらいので。
⑦	なるほど。これは折衷案。
①	カッコでもいいですけど、「(折衷案)」でもいいです。最初から「折衷案」でもいいんですが、何かよい言い方があれば。
⑨	私が考えたのはもっとシンプル。
⑦	どうでしたっけ。
⑩	「その他」。複数案の現状維持、道路機能重視、その他。
⑦	「その他」で済めば、それに越したことはないけど。どうですか。

①	いきなり「その他」というのはなんかちょっと。
⑦	僕はたぶん。今の①さんのご意見を踏まえると「(折衷案)」とかね。そういうのは全然いいと思います。どうですか、⑧さん。
⑧	その3つしかないですよ。
⑦	じゃあいいですか。公園面積最大化。ないしは「折衷案」として、「(公園面積最大化)」としておきますか。
①	そのほうがわかりやすいですね。
⑦	いいですか。ではそういうふうに。
④	1番で行政の方にうかがっていいですか。こういう表現で大丈夫ですか。一体化という表現を言っている中で、この表現が大丈夫であれば。
⑦	どうでしょうか。
④	また、もう一つ言っちゃえば、公園を増やすという選択だってあるだろうなと。それをやっていくのが本来の公園・緑地行政だと思うものですから、こんな弱腰でいいのかと。
⑧	我々が？
④	いやいや。行政として。
①	今回は川と道路にはさまれているものですから、それはそれで。とりあえず仙台堀川公園としてはもう用地の最大はそこで決まっちゃっているわけですから、それはない。
⑧	一体化案だからね。道路をつぶすという考え方もあるよね。
①	いや、いいよね。だめ？ ⑥さん。
⑫	折衷案はわかるんだけど、「折衷案(公園面積最大化)」というのがちょっと。やっぱり公園面積最大化というのはよくわからないかなと思います。
①	ああ、そういう意味ね。
⑩	そうしたら、「その他(折衷案)」で。
⑫	各種折衷案というか、そういう表現なら。
⑦	それはいいと思いますよ。
①	「その他(折衷案)」。はい。
⑦	そうしますか。では「③その他(折衷案)」。いいですか。次に行きます。
①	この下のコメントは。
⑦	これはね、僕もオリジナル、要るのかなと思いながら、そのまま。たぶんダブっているんです、これ。
①	そうですね。「申し添えます」だから、これには要らないと思う。
⑦	消していいですか。このページ。ちょうど下まで。「多くありました」まで。
⑫	うん、これは削って。少なくとも、入れるとしてもこの位置ではないと思います。
⑦	後ろでも言うんですよ。じゃあ、これは。「上記内容」から「多くありました。」まで削除。さあ次、提言Ⅱ。これでまず表題ですけども。提言Ⅱの名前ですが。この1、2、3、4とありますけども。
⑨	私は3番。
①	そうすると上の1とダブってしまう。何か似たような感じになっちゃいます。
⑨	だから私の考え方としては上は4番で、2番目が3番という考え方だったのでこうなった

	のです。
⑦	これは今の、ちょっと長いんですけど、「自然味あふれる魅力を保全継承してください」という、この言葉はいいなど。用語なのかもしれないけど。
⑧	だから「継承する」でいいんじゃないですか。
⑦	どうだろう。
④	今の両方の発言とも、道路にかかわる観点はどのように踏まえての発言ですか。
⑦	ですから、これを保全・継承していくので、Ⅱ-1 で交通に関する検討というのが入ってくると思うんですね。減るの減らないのという。
④	そこら辺をちょっと行政の方に。
⑦	どうでしょうか。
①	私は「自然味あふれる魅力」というのはわかりやすくいいと思います。
⑥	ここで交通に関する言及をⅡ-1 で言っているということは、安全性も考慮しなければいけないと言っているような内容なのかなと思うので、「水、緑、土」だけというのはいかがかなというふうに思っています。
①	中から考えるとね。
⑥	それらも含んだ内容にしたほうがいいかなと。
①	ダブっているんですよね、そうですね。前で電線地中化を入れているから、これはダブっているから、ここ自体が要らない。
⑧	ここはね、公園の中身の話をしている。だから、安全も人間と自転車の話をしているわけで。
⑨	前は6項目あって、検討提案が5つあったんですね。
⑩	こっちの？
⑨	前回のたたき台。
④	いま⑧さんがおっしゃった、Ⅰは徹底的に道路、Ⅱは徹底的に公園だと。
⑧	公園の中身ね。
④	そういうふうに割り切っちゃえば、①さんがおっしゃったような話もあるかもしれない。ここに道路がちらちら出てくると、このタイトルでは成功できないんじゃないかという。その位置づけの整理というのによるんじゃないですか。
⑧	⑥さんのやつというか、1番に残っているのが公園の中の道路の人間と自転車の話なので、残らざるをえないとは思っていますよ。
④	じゃあ、だからこの1の交通に関する話というときに、そこにシャープになると公園の中の道路の話だよということ。絞り込んだ表現にするということで今の整理をしている。
⑩	そうですね、なんか。
⑦	ここのところは僕もね、読んでいてなんかちょっと。まず前文が要るのって。
⑧	もともとそういう切り分けだった気がするんだけどな。
⑦	このオリジナルの P.6 ですか。提言Ⅱのやつ、このいろいろな意見の。これに基づいていくと、1は「地域と公園における安心・安全を確保する」となっていますよね。2は「区民の森として……」になっていて、3が「在り方を考える」。5が「幅広い利用者の目線から考える、合理的な施設・設備にする」となっているのですが、こっちですよ。こっちですよ。

⑰	僕もそういう。
⑦	どうでしょうか。P.6、いろいろな意見の。まず前文でね、提言Ⅱの前文ですけど、この「区民から寄せられた……」というのは、少なくとも「再修正案を策定するに際しては」というのは後ろでありますよね。ここはここで出てこないほうがいいんじゃないですか。
④	⑦さん、ちょっと時間をもらってもいいですか。実はその話というのは、これに基づいてやるときには、この中で。これで僕は今日皆さんに話をやってもらおうと。今ご指摘いただいているところというのは、3のところからすでに発生しているわけなんですよ。P.3に。3のところに提言というのがあって、「提言の根拠」という青い字があって、その次に、これは⑬さんが書いてくれていたんだけど、「求める計画、設計方針」とかいう言葉も貰っていたんだけど、ローマ数字があるじゃないですか。Ⅰ、Ⅱと。
⑦	P.3 ですよ。
④	<p>そうです、P.3 です。P.3 の下のところにアラビア数字の「1. 一体化……」「2. 地域課題の解決……」というのがあるでしょう。その次のページに3があるでしょう。この3つは計画論なんです。その次に、先ほど話題にしておりましたⅠ-1、Ⅰ-2、Ⅰ-3 というのが P.4 にありますでしょう。これが設計論なんです。この構造で前にお出ししていたわけですから、この議論をするという前提で今日はこの資料を作ったわけです。だけど、⑩さんと⑦さんのはそれを飛ばしているわけです。それでこれになっているわけです。だからこれでやりましょうと言ったときに、そこら辺の議論が。私もちょっと注意しなかったんだけど、飛ばしちゃっていると思う。</p> <p>また今の提言Ⅱのところで見れば、P.6 の下のところに今ご指摘のところの1、2、3。これは計画論ですね。つまり、こういう方向だねという議論をしている。それで、⑰さんがお出しになっていた資料があったでしょう。みんなで勉強しましょうと。それをこの中に入れ込んだのがこのⅡ-1 からのやつなのです。だから、この中のⅡ-1 からⅡ-5 まで、これを⑩さんと⑦さんはそこだけとらえている。その違いがある。</p>
⑦	なるほど。そういった意味では、こちら、提言Ⅱの中身としては P.6 の項目を書いたほうがいいですよ。
①	はい。1、2、3。まだあるのか。4があつて。
⑦	3と4が合体できるかということですか。
⑰	3と4で「緑」という言葉が両方出てきているので、それはおかしいですよという。私が言ったのは。
⑦	ああ、そういうことですかね。
⑰	それから、ここで言っている1の「地域と公園における安全・安心」って、ここで書かれている内容って公園内とか公園の周辺との関係性だから、これはそんなに要請としての重要度は低いのではないかと。だから、生態的な価値とか緑とか水とか土のほうは順番としては上に来るべきだろうと。これは3でいいのかな。ちょっとそういうふうには思いましたね。
⑦	1は要るかということですよ。逆に、この提言Ⅱのところ。1が。
⑰	まあ、それも。
⑦	これは要るのかな。園内で安心して歩くことのできる領域を確保し、拡充していく。
⑰	ただ、現状で言うと公園の中の歩行者と自転車の錯そうみたいなことが。

⑦	言われていますよね。
⑧	これが重点課題なんです。今回の。
⑩	です。
⑦	これはこれで要るのか。
⑧	これは解決しなくちゃいけないし、空間としては公園の中の話なので、ここへ置いておいていいと思いますよ。
⑦	なるほど。そうしたら。
⑧	いや、書き方がちょっと。範囲が変わっちゃっているんで、それは公園の中の道路としてとらえたほうがいいと思う。
⑦	「公園における安心・安全を確保する」ということですか。
⑧	公園の中のね。
⑦	「地域」を取って。あえて「地域」というのは、他の公園との行き来とかそういうことが入っているんでしょう、これ。今回そこはどうなんですかね。むしろ。
④	区民の意見は多かったですよ。学校に子供たちが行くときとか。その意見はありました。
⑧	でもそれは、Ⅰのほうの歩道の話になるんじゃない。さっきの提言Ⅰの。
⑦	Ⅰの歩道はあくまでも、あれじゃないんですか、道路としての。道路機能の歩道としてのやっなんじゃないですかね。今ここで言っている地域というのはそうじゃなくて、公園が3つくらいあるから、それがなかなか見通せないし、行きにくいよねということ言っているんですよ。
④	公園がずっとつながって行けない状況が。
⑦	そうすると、項目はこれで全部まず生かすということですかね。変えると。
①	この1、2、3に。順番は2、3、1という感じで。はい。
⑦	ということですか。
④	⑩さんが書いてくださったやつも。
⑦	これは⑩さんが。
⑩	カッコのやつは、僕は単に順番を変えて、ここで言う3と4が本来一緒でいいんじゃないのというだけ。
⑦	ここで言う3だよ。そうすると、具体的にやっていきましょか。まず、再修正案云々というのは前文のところは落とすと。2つパラグラフを落とすと。それから、これはまたあれですかね、「願っています」というのは落としちゃうのかな。
①	さっき落としたから。
⑦	それで、Ⅱ-1からというのは、ここにP.6のほうに書くと。
①	はい。4は統合すると。
⑦	3と4は統合するということですね。ということですかね。5は。
⑤	これをやめてこっちにすること。
⑧	この下のⅡ-1からというのは？
①	そうです。このⅡ-1のここははっきりやめて。
⑦	全部変えちゃう。
⑧	全部やめるのね。

⑦	うん、とりあえずやめちゃう。
⑤	全部やめて、この上にやつに変えるということですよ。
⑦	今1の「安全・安心を確保する」とやって、どっちで行くか。下の。
④	⑩さんのやつをベースにする？
⑩	いや、別にこれはここに入っていないでもいいんですけど、3番目のところで区民が検討事項の中に参加するという場所をちゃんと確保してくださいという意味です。
⑦	いいですか。次に、安全・安心のところの上で行くか下に行くか。これは下のでいいんじゃないかな。どうですか。「公園の連続性や周辺に立地する公園との行き来をしやすくする」、2ポツで「園内で安心して歩くことのできる領域を確保し拡充していく」というのでどうでしょうか。いいですか、それで。
⑧	はい、いいです。
⑦	2番、「専門家を交えて」。これは「ツミの生息などの」と「ツミなどの生息や」はどっちがいいのですか。
⑤	生態調査をするだから、「ツミの生息などの」のほうがいいんじゃないですか。
⑦	「ツミの生息などの生態系調査」。これはたぶんツミだけじゃないよねというのが、たぶん「ツミなどの」という意味なんじゃないかな。鳥の。
⑧	いやいや。生息などが生態系調査に入るかどうかだけの話です。「生息や」というのがおかしいです。「ツミの生息などの生態系調査」ですね。
⑦	それでいいですか。では、それでいきましょう。「開園30年間の成果である土、……魅力を保全する」。これは30年？ 40年だけ。
⑥	37年。
⑦	では40年だな。約40年。これはいいですね。「3. みずとみどりと土の在り方を考える」。ここは。
⑤	これは次のと統合するんだとしたら、「みずとみどりと土の」ということになる。
⑦	「みずとみどりと土の在り方を考える」。これでいいですか。それで中身は。これは全部、残していったいいのかな。
①	一応ここは10時なので、庁舎の2階にでも移って、残り30分で。
⑦	はい、行きましょう。「水環境の重要性を継承する」。「連続性」を入れると。では、このポツのやつはそのまま全部入れるということですか。では、次に行きます。次は4ね。
⑤	「年齢などの…」のところの2番目のポツで、「利用形態」と「要請」という2つ意見が出ているのですが。
⑦	ここね。まず、5はこれでいいですね。4になるけど。在り方を考える、公園の在り方。1が「ラジオ体操…」、2がいま⑤さんご指摘の「多様な利用形態」？ 「多様な要請」。利用形態のほうがいいのかな。どうなんだろう。
①	今は利用形態として多様になっているので、利用形態でもいいかなと思いますが。
⑦	なるほど。どうでしょうか。そのほうが具体的だよ。要請」というよりね。
④	使われる公園という方向で都市公園法が改正になったばかりで、「使われる」というとこれまでの形態以外の潜在的な要請があるかもしれないというものに対しての法改正だったものですから、もし「要請」で問題なければ、「要請」のほうが時流に合うかもしれません。

⑦	「多様な要請」ということですか。
④	これまで見過ごしてきたというか、禁止してきちゃったというような。子供の遊びとかはそうだよな。「だめ、だめ」、あれをやっちゃだめ、これをやっちゃだめと。でも、本当はローカルルールでできるんじゃないのみたいなことまで国交省が言ってきているのです。
⑧	今できていないことも含めてということ。
⑦	「多様な要請」。どうでしょうか。「要請」でもいいかもわからないですね。
④	冒頭に「など」と書いてあるから、どっちでもいいと言えばいいかもしれないけど。
⑦	「利用形態に応える」。
⑧	利用形態だと現在やっていることだし、要請だと潜在的なことも含めて。
⑦	ペットと過ごすなんかはそうだよな。
⑩	両方ではだめなのですか。「利用形態と要請に応える」。
④	「ならびに」とか。
⑦	「多様な利用形態と要請に応える」、うん、それでも。どうですか。では「と」を入れると。次は5番ですね。合理的な施設整備とする。「必要な整備水準や投資対効果（削除）」。これは「削除」というのがリクエストで入っている。「を踏まえた施設計画とする」。「利用に伴う不都合を想定して……マナー標識……」。どうでしょうか。
⑥	お金に換算できるものとできないものがあると思いますので、⑩さんも言っていましたけど、投資対効果というのは削除させていただきたいと。
⑦	どうでしょうか。これを削除する。いいですか。投資対効果はこれに限らないからね。できるところはやるという前提ですよな。では、削除していいですか。あと、この項目はどうでしょうか。それぞれ。
⑰	具体的なイメージはどういう。
⑩	上の行でうたっているからいいかなと思います。例えばソーラーとかも入っているので。「循環」というのをどこかに入れたかったんだよな。
①	時間調光は。でも、部分的にはそういうのをやるからいいのか。園路は基本的にはやらないので。
⑧	環境に配慮した設備に変えていくという考え方もあるよね。きっとね。
⑩	そう、そんなのもちよっと。どう書いていいのかわからなくて、とりあえずぶっ込んだという。
⑧	言葉の表現だよな。老朽化にあわせてというところだけじゃなくて、変えるときには環境対応型というか、それに代えていくんだと。
⑩	そんなイメージです。
⑰	単純に「環境負荷の少ない施設整備を行う」という。自然を循環させることのできるシステムというのが。
⑩	それは落ち葉への対応とか、そんなイメージなんですけど。
⑳	土にするというイメージですよな。
⑩	そういう意味が入れられるといいなと思って。
④	それは2のところにも入るかもしれませんが。「区民の森として培った生態的な価値そして自然環境を最大限保全する」のところ。
⑩	そう、どこに入れようかちよっと。ちよっとパーマカルチャー的なことを考えていて。

⑰	それは施設整備の話じゃなくて公園の利用の話で考えたほうが、たぶん⑩さんが言っていることの趣旨は。
⑩	ここじゃないかもしれないと思いながら書きました。どこがふさわしいでしょう。
④	生態というのは系だから、今の循環というのも系の話だから、だからそういう意味では水循環とか、系のことを言わんとする2の中に文章を入れたほうが収まりはいいかもしれない。
⑩	入れて頂けるなら。
⑦	2というのは、ここで言う P.6 のところね。
⑤	「区民の森として」のところ。
⑰	自然環境を最大限保全するという。
⑦	ここに入ったほうがいいね。
⑰	そのほうがなんか。
⑩	ではぜひそうして頂いて。
⑰	6番はどちらかというとハードの話だから。
⑦	そうですね。言葉はこれでいいですか。
⑩	いえ。
⑧	ハードでもそういうものを使っていくという。
⑰	システムと書くと、ハードぼく聞こえちゃうんですね。
⑦	例えばソーラー電源の導入などがそうなのでしょう。
①	ソーラーは実際的にはメイン電源にはならないので、あまり。
④	環境負荷の低い素材を導入するとか、そういうニュアンスの言葉を入れればいいんだよね。ここに。
⑧	そうそう。施設導入に関してはそういう形。
④	リサイクルできるような素材。
⑧	あとは自然生態系のほう、循環系は自然生態系のほうでうたって、設備のほうは環境負荷の少ないものを導入する。
⑦	「環境に負荷の少ない施設とする」。施設整備。
⑩	環境に負荷をかけない。
⑧	設備を導入する。
④	「かけない」と言っちゃわないで、「低い」とか。
⑤	「環境への負荷の少ない施設整備を行う」。
⑦	いいですね。それから、自然循環は2のほう？
⑧	今やっていることだと、緑のリサイクルを推進するみたいなことだけど、それだけではないということですね。
⑦	維持管理の問題なのかな。仕方？ 自然環境を最大限に保全する。自然の循環システムを。
⑰	そうすると3番にしちゃったほうが。
⑦	3番だね。在り方を考える。ここだよ。要するに「水と緑と土の在り方を考える」というところに入れたらどうかということね。「自然の循環システムを活用する」。自然そのものが持っている循環。自然を循環させることのできるシステムを導入する。これはどうで

	すか、これをこのまま。「自然を循環させることのできるシステムを構築する」というのを。ないしは「導入する」というのを「水と緑の在り方を考える」のところに入れたらどうですか。
⑩	先ほど「システム」だとちょっと言葉がかたいと。どんな言葉がいいですか。
⑰	「仕組み」？
⑦	日本語だとそう。
⑩	「仕組み」、いいです。
⑦	では「仕組み」でいいですか。「自然を循環させることのできる仕組みを」、構築、導入、どっちですか。
⑩	構築する。
⑦	OK。じゃあ、それを。その辺はニュアンスだから、そうしましょう。「水と緑と土の在り方を考える」の最後のポツでいいのかな。いいですか。構築になったんだっけ？「構築する」ね。はい。あとはいいですか。「合理的な施設整備とする」について。じゃあ、これできりあえずいいということにして。
⑰	最後の「マナー標識……あり方を想定する」というのは、「想定」でいいのかな。
⑳	「検討」のほうが普通ですね。
⑧	今は全然ないんだよね。
⑤	在り方だから、検討。
㉑	充実とかでもいいですけど。もっと踏み込むと。
⑦	「在り方を検討する」でいいですか。そして、この次は何だ。これで提言Ⅱはいいんですね。次は提言Ⅲ。いよいよ最後。これがまた。これは P.9 ですね。これはまた表題を考えないといけないですね。表題はどれがいいですかと。原案では「区民がどう使いたいかと」いった声が多く反映されるような整備案と枠組みを検討してください」となっていますが、これは要はプロセス、検討・決定プロセスのことに言っているんですね。提言Ⅲはね。
⑰	プロセスの中でどういうふうに区民がかかわれるかということです。
⑦	それで、今度は提言書の P.1 で4つほどの案がある。
⑤	1と3は同じです。
⑦	では1、2、4だ。さあ、どうでしょうか。
⑥	2の「区民参加を確保したうえで」となると、再修正案の検討は進められないということになると、行政としてはちょっと入れられないのかなと。
⑤	「開かれた形で」であれば、いろいろな意味にとれますね。
⑥	そうですね。いろいろなやり方がありますので。
⑦	どういうことですか。
⑥	①であればという。
⑦	これは後の、その後の検討という意味というふうだね。
⑤	開園後とか。整備中も？
⑰	でも「再修正案の後の検討」というのはどういう意味でしょう。
⑩	「後の検討」を取ってしまったらどうですか。

④	どこまでを。時間のね。このイメージで言えば、再修正案の検討時と、よく⑧さんがその後の公園のマネジメントというところもということが「後の検討」の意味だと思います。
⑧	内容に入っていないよね。後のマネジメントのところはね。だから抜けている感じ。今さらだけど。
⑦	いや、抜けていない。議論ができなかったんじゃないですか。
④	ちょっと終わらせていいですか、自分の意見。つまり、再修正案に向き合うに際して、再修正案の中で後の検討もやってねという意向をここでぶつけるならば、ここに書いておくという意義はあるかもしれないし、再修正案に向けてだけでいいんだよと言えば要らない。
⑤	「後の」というのはあったほうがいいと思うんですけど。
⑩	公園ができた後のという意味ですか。
⑤	と、後ののちの。もう少しやさしい表現があるといいなと。
⑰	再修正案と、後の検討。
⑧	何かいい言葉はないのかな。
⑩	今後の。
⑳	将来の。
⑤	「将来の」はいいですね。
⑧	再修正案検討と。
⑰	将来の。
⑧	今後の公園。
⑨	その後の公園。
⑧	管理・運営。
④	世の中的には「公園づくりの検討」、そんなようなもわもわとした言い方をする人もいる。
⑧	公園づくりというと、設計段階も入っちゃう。
④	何もかも入っている。改修もあるし、将来のマネジメントもあるし、建設もあるし。
⑤	全部を「公園づくり」と言ってしまう。
⑧	そういう手もある。
④	そうすると、再修正案に向かっているというシャープな話が、よけいにぼわぼわとしちゃうんじゃないかと思う。ただ、これだけじゃないんだよと言うがために「後の」と入っているものの代わりの言葉にする。
⑧	「再修正案と後の公園づくり」。
⑰	これはつくった後の話ですか？
④	つくったというか、建設するときね。
⑰	立案するでしょう。再修正案ができるでしょう。その段階の話じゃないんですか。
④	にするかどうかの話です。
⑧	その話を。
⑰	どっちなんですか。意図したのは。
⑦	これは両方なんですよね。この中の提言の文章を見ていると、「整備後の公園により多くの方々の関心を維持し、これからも魅力的な公園にするためには計画段階に使い方の考えが反映された」。これは修正案だな。今後のことも。再修正案をつくる段階に区民の声を入れ

	てよという感じかな。
⑬	そのほうが強いのかなと思って。というのは、幹事会が解散するというのを心配されていたでしょう。出した方がいいが。まず第1点は、提言したことがそっくり実行されているかどうかということですよ、心配していたのは。さてそれはそれとして、つくっちゃいました、つくってからでは遅いですよね。だから、つくる最終段階での説明というか、それを考えるべきなのか、そこまで考えられないのか。つくった後でしたら、もう完全に運営の話しか出てこないと思うんですよ。一義的にはね。だから、つくる前の、これまでの状況からすると、独り歩きしていたものですからこういうふうになっちゃったわけですよ。今までのプランが。そういうことですよ。それで幹事会をつくったよ、こういうふうに行っていますよというのが意見交換会でやっとそれで収まったわけですよ。その次には、幹事会が提言書を出しますよと言ったところ、10月で解散するんだけど。これも周知のことですよ。さてそこで心配は、出しっぱなしで終わらないか、見守ってくださいよという要望があったと思うんですよ。だからどちらかという、これは再修正案が完了した時点の話かなと思ったんです、私は。「後の」というのは。
⑦	再修正案作成の、その過程と、再修正案ができました、今度は実際に工事をかけていきますよと。そのプロセスについては常に区民に開かれた形で取り組んでほしいと。意見が言えるような機会を設けてくださいという心ですかね。
④	今の話でいくと、いろいろな公園づくりがあるんですけど、方針ができました、計画ができました、設計段階の参画はどうしましょうと。または変な話、自力建設しましょうかと。ビオトープくらいは、子供たちとこのエリアは一緒につくっていきましょうと。つくったんだからモニタリング調査も継続してやろうかと。そういう感覚の公園づくりが増えてきてはいますね。記念植樹というレベルもあるかもしれないです。何かピースをつくっておいて、それを部材に使ってもらおうみたいな話。これから、こういうこともやったのだから、より自分たちの公園だとかかわりが得られるような公園の在りようをつくろうじゃないかというあたりが、⑧さんがだいぶ言っていたかなと思って。
⑧	言っていましたよ。
④	「後に」というあたりにはそんなニュアンスを感じます。
⑦	ここに書いてあるのは、整備後も気持ちよく維持できるように使い方を計画段階から整備後の活用段階まで一貫して検討していくことで、一緒によい公園にしたいと考えていますというのは、まさにそういうことですね。
④	ちょっとあれですが、行政としてはこの計画ができましたと。この公園は近々指定管理者制度に乗せるというような想定があったりすると余計に、「後の」と書いておくかどうかみたいなことは後で効き目が出るかもしれない。
①	今のところ、指定管理者にすぐ移行するということはないですね。でも、将来的にはパークマネジメントというところがあるので、書くのも一案ですし、さっき⑬さんが言ったように書かないほうが、今回はここでは書かないほうがブレないんじゃないのという点では、ブレないかなと。その両方あるので、それは皆さんのご意見でもいいかなと。
⑧	「公園づくり」でまとめちゃうと、両方のどこを見ているかわからない。公園の計画段階での住民参画みたいなことをすると、それは強いんだけど、「その後の」ということが入ってこない。併記するという考え方で今は「後の」が入っているんだけど、ちょっとわかり

	づらいので。
㉑	今の原案だと、下のほうに「後の」文章が出てこないで、タイトルに入れるんだったらⅢ-4の後の話がないと、タイトルにだけ入ってもしょうがないかなという。この原案だと。
⑦	これは意見としてね、区民の意見としてそこまで今回、修正案が出たけれど、とてもじゃないがたまらないよというところに意見が集中していて、いい公園をつくりたいよねというのは要求は出ましたと。だけど運営まで、公園の整備が完了しましたと。その完了して以降にどういうふうに区民の声が反映されるように運営してほしいんだとかいう意見は、けっこう出ていたのですか。
④	この前、ブースのどこかで、⑭さんのところに言いに来た人たちが土俵が何とかという、あのブースではそういう話でしたというような発言はありましたね。
⑦	土俵は残してほしいとか。
④	「私たちがやるからさ」というようなことを言ってくれた人が当日もいた。それから、ずっと⑧さんは言っている。それがあるよね。
⑦	それで、1,300 というあの意見の中でもけっこうあったのですか。
④	量ですか。
⑦	量がわかれば。イメージ的にわかれば。
④	基本的に公園の活用にかかわる情報は、意見は、量でいけば全体からすると少ないです。
⑧	第3ブースに話に来た人たちだけだけど、その中でもあまり出ていない。
④	皆さんどちらかという当面の問題は建設する仕方についての関心が大変に強いですから。
⑦	ですよ。
④	量でいくとそんな話題になる。
⑧	タイトルに入れなくても、その中身は入れてもらいたいということがあって。2-5で、さっきつづいた2-5が公園管理の。公園活用に関する検討というところがあるので、その部分を区民参画でやっていくということの文章として1つ残しておくという方向はあるのではないかと思います。
⑰	「公園活用に関する」？
⑧	そう。さっきⅡ-5でつづしちゃったところがあるじゃないですか。それを、今は区民参画という言葉は入っていないんだけど、区民参画にしてⅢのところに入れる。
⑦	Ⅱ-5。
⑧	Ⅱ-5の上のほう。上の黒のやつを残して、そこに区民参画というふうな形で入れ込む。この間、⑰さんも④さんもおっしゃっていたけれど、羽根木公園なのか南池袋公園なのか、まさに形態はいろいろあるでしょう。
①	羽根木は場合によっては似てくるかなと思いますが、南池袋はちょっと違うかなという感じもしますね。
⑧	どのような形でも。
①	内容自体はちょっとあれとして、利用に関する検討。
⑧	固定化される話ではないと思うので。
①	それはそうですよね。だから、利活用アイデアというのはいいと思う。「羽根木公園など」くらいでいいかなと思うんですけど。この前半で、「など」なので南池袋は取って頂いて。

⑰	これはこんなに細かく書かなくても。
①	確かに。利活用アイデアでいいか。
⑰	これはたぶん私のほうで、ワークショップ的なことを出したプログラムの項目をそのまま全部入れた形になっちゃうので。
⑧	だから、維持管理を民間共同でやっていくとか、民間にシフトしていくとか、そういった方向性だとか、あるいは先ほど④さんが言われたような一部設計を民間が将来的には先行させながらいじっていく、活用する空間があるとか、今の雑木林空間を民間で維持管理させるとか、草地を維持するとか、そういうことはいろいろ民間で担えるのだと思うので。部分的にはね。
⑳	そうしたら、羽根木という具体的な名前を出さないのだったら、P.10のⅢ-3の上のほうが。後半部分の公園活用というこの辺の文章を少し直していくという形でも内容的には入ってくるのかなど。
⑦	開園後の公園活用ね。
㉑	そうです。この辺の文章が入ってくるというのでも、内容的には。趣旨としては同じような話かなと思います。
④	僕の話からすれば、⑯さんの心配があるよ、シャープでなくなる心配もあるよということについての理解も踏まえたうえで、でも入れたいよということであるならばという意味で言えば、これがコンサルがかかわっている意味だと思うのですが、時代の向いている方向からすると、都市公園というのは都市計画施設なんですね。しかし、使われない公園が多い中で、使われる状況を整えていこうよというのが国の施策の方針でもあって、市民の施設にしようよというような動き。それがプレイパークみたいなベースでもあって、つまり、暮らしともっと身近にかかわれる状況づくりというのはあるものですから、行政が全部仕立て上げるものではないので、一緒にやりましょうよと。こういう方向は入っているほうがいいんじゃないかと思います。それが「後の」という言葉でいいかどうかだけは、提示していただければ。さっき⑤さんの言っていたのは何だっけ。
⑤	将来の。
⑦	「将来の」というのは、何の将来。公園運営？
⑧	公園ができた後の話ですか。
⑤	はい。
⑧	1つは設計段階の話があって、それはそこで。「再修正案づくりと、それから将来の検討を区民に開かれた形で」。
⑦	「将来の」というのは漠然とした感じがするから、「将来の公園運営に関する」？
⑩	公園活用。
⑧	逆に言うと、漠然とさせちゃったほうがいい。だから、再修正案が主なんですよ。なので、再修正案はきちんと書いておいて、将来のというぼんやりしたものがくっついているだけで、ちょっと比重の重さを再修正案に乗せた形で両方をうたうようにしたほうがいいかなと思っていて、「後」という言葉はちょっとわかりづらいので、いま⑤さんがおっしゃった「将来」という形に変えて、そのまま①を生かす。
⑤	「再修正案づくりと将来」ですか。「再修正案と将来」？
⑧	「検討」がどちらに係るかですけど、「再修正案づくりと将来の」と言うと。

⑦	具体的に、まず再修正案づくりについて開かれてやってよと。それから、再修正案が策定されて整備された「後に」についても、開かれたいろいろと意見を言えるような取り組みをしてくれと。こういうことですか、具体的に言うと。そういうことでいいんですかね。
⑧	ちょっと文章にしてみてもいいですか。
⑨	「再修正案やその後の公園管理・運営を区民の理解を得たうえで進めること」。
④	「理解を得たうえ」というのはちょっと。
⑦	これは「開かれた」。
⑧	区民が参画するとうたってはいけないの？
⑩	その辺は「開かれた」というところでもいいと思うんですけどね。
⑧	中身に関しては区民参画と書いてあるので。
①	そうですね。表題としては、やっぱりこういうほうがなんか前向きでいいかなと。
④	言いたいことを言わないからだめだと。
⑧	私は参画というのは入れたい。「区民参画」というのはすごくきれいな言葉じゃないですか。今まで江東区があまりできていなかったことをここでやるんだというふうな意思というか、我々の提案としてちゃんと持っていきみたいなことなんですけど。計画段階の区民参画って、今までないじゃないですか。これを江東区のこの公園づくりにおいて、今はちょっとやり直すということなんだけど、そこに区民が参画してやるんだということを提案したい。
⑥	それは素晴らしいことだと思うのですが、来年度着工に向けたスケジュール的には区としては入れられないかなと。部会の。
⑧	それはちょっと。
①	「開かれた」ならいろいろなやり方はあるからさ。その中では。
④	ここは重要なところ。はっきりさせてほしいところ。
⑧	重要なところですよ。それで僕は上位計画と書いたんですよ。区民参画というふうなことがうたわれているので、計画段階から参画するということがすごく重要で、そこに基いてやり直しましょうよという考え方。参画の形式もいろいろあるので、開かれた形式がいろいろあるというよりは、参画の形式もいろいろあると思うので、それはちょっと検討するというのを提案したい。これは本当にスタートのケースだと思うんですよ、やるね。
④	あれでしょう。これのどこをシェアするのかという話でいったときに、プロセスの話を言っているでしょう。
⑧	言っていますね。
④	結果だけ見せる「開かれた」というのもありえるよねという極論があるでしょう。そのどこら辺かという話でしょう、これ。
⑧	そうですね。
④	きちんとやってくださいと。
⑧	それで、⑩さんがずっと言っていたように、どこから区民が参画、開示したのという話もあるわけですよ。だから、そこで齟齬があった状態が今の結果としてこうなったわけだから、一番最初の計画段階からというふうなことが必要かなと。そこはもうちょっと、表現できるのなら絶対に表現できるようにしてもらいたい部分ですね。

④	これはちょっと僕が調べてきます。どうぞ、しゃべって。
⑰	<p>けっこうこの前の第2回意見交換会でも、あそこに来られた人は、あその意見が区民全体の意見ではないとは思いますが、まず我々としては意見交換会という場を設けたのだから、あそこで出されている意見を最大限重要視しなければいけないというのが前提です。来られた人は想定していたより少なかったんだけど、幹事会としては区民、区役所も一緒にあの場を開いたのだから、あの場に出されている意見をまず大事にしなければいけない。</p> <p>あそこで出されている状況って、やっぱり行政側がつくったプランと区民側の意向のものとすごいギャップじゃないですか。そのギャップをどうやって埋めるんですかと。僕が出した部会というのは、たぶん時間がかかるからなかなか難しいとは思っていたけれど、ああいうことをやっていけば相当にいろいろな誤解は解けるだろうなというふうに思っているわけです。</p> <p>それを、じゃあ来年度から着工するにあたってどうやってやっていくかということをちゃんと考えないと、また設計はしました、という話になっちゃうと全然よろしくないわけですよね。どう考えても。とすると、何らかの形で区民がかかわるようなプロセス。幹事会でもいいんですけど、やりながらやっていったほうが、やるべきじゃないんですかという素朴な疑問。素朴にあるよね。</p>
④	⑰さんに質問していい？ 来年度からの着工は前提にすると言っているときに、どのような乗せ方があるか。それは⑰さんはどう思って発言しているのですか。
⑰	どのような乗せ方ね。それがよくわからない。
④	それがやっぱり行政のほうでもわからないから、そういうやり方はできないんじゃないかというふうに言っているように聞こえるんだけど、行政的にはどうですか。
⑥	そうですね。来年度着工になると、例えば秋に施工するとなると、もう設計を固めなければいけない中で、区民の方に参画いただくとなると、どの方を参画させるという議論にもなります。それは庁内でのオーソライズであったり、区報に掲載するであったり、それを抽出する方法であったり、その意見をまとめる方法であったり、そこからまた設計をやり直すということになると、来年度着工にはとても間に合わないというイメージで、参画という言葉を含めて、部会という言葉も含めてやめていただきたい。ということで、「開かれた」ということであれば、何らかの。
④	だから整理させてもらおうと、区民とこの情報をやりとりすることに対して、後は秘密裏にこちらだけの権限でやるという姿勢ではなく、それは伝えたいといえども、選考だとか選定だとか運営だとか、スケジュールの中での不可能さというのを大変に強く感じているがゆえにという理由でいいんですね。
⑥	そういう理由です。
④	そうすると、その解決をどうしたらいいじゃないのというのがないと、この固い心を。
⑦	まず僕はね、⑰さんと似ている意見かもしれませんが、僕は再修正案に集中したほうがいいと。その後の運営って要するに、再修正案で計画ができて、工事が実施されて、整備されましたと。その後の運営についてもここで触れたいなということですよ。
⑧	いや、いま話しているのは全然違う話で、住民参画ということで設計段階の住民参画の話は今話していて、今はその後のほうの話を⑦さんはしているんだけど、今は違って、再修正案の住民参画という。その「参画」の言葉を入れたいという話を僕は話しているんです。

⑦	失礼しました。その後の話じゃないんだ。
⑧	その後の話は今はしてなくて、その後の話は弱めて別にいいという話はしていて、それはそれなんだけど。ただ、いずれにしても何かしらの形で。今どういうふうな形で再設計されるかわからないんだけど、そこに対して住民意見が入るような仕組みをやっぱりつくっていかなくちゃいけないと思う。いずれにしても設計に入るわけですね、これから。まったくこのままではいかないはずなので。
④	⑧さんの言っている言葉を、僕らも心配しているわけですよ。ここまでやっておいて、それでもって工事だと言って、この間でどれだけの共有、理解、合意が得られるんだろう、どうやって果たすんだろうかと。これはもう客観的に、僕は心配しているわけですよ。そのことを言っているという、まず理解でいいですか。その心配は行政はしていないんですか。
⑥	心配？
④	これだけ広げて、議事録もネットで出して。
⑥	ああ、心配はしていますね。
④	ねえ。それはみんなの心配なんですよ。
⑧	また振出しに戻るよという感じはしないでもないですよ。
④	そういう中で、こういう心配の中で、いい知恵がいま必要だというのがみんなの共有する状況だと思う。
⑦	僕がここで書いたのは、⑩さんは部会というかなり具体的にあったじゃないですか。そうするとノーだと言ってきたんですよ。でも一方では、声は聞かなきゃだめだよねというふうにも思っている。だから、区民が参加できる体制をつくってくれと。我々としては。それで何を検討するんですかということについては、まさに提言の中ですよ。だからこの提言Ⅲについては、区民が参加できる体制をつくってくださいということ。そこは「参画」という言葉なのか。「参画」というともうちょっと計画まで踏み込むから、僕は「参加」という言葉で、要するに意見が言える場を設けてほしいなど。というところで止まっているんですけどね。
④	そうでしょう。その次の話をもうしちゃっているんですよ、こっちは今。だからそれを聞こうとすると、行政的にいろいろな手続き上のカレンダーとしても、それを実現できることがここでもう相当に難しいと思っているうえに、その言葉は盛り込めないんじゃないかと言っている。
⑧	僕も素人だからよくわからないんだけど、⑩さんが何回もね、これと同じメンバーで設計段階でもう一度グループをつくったほうがいいんじゃないかと何回も発言されていますよね。僕は⑩さんが何回そういうところに立ち会っているかわからないですけど、プロフェッショナルの意見として、皆さんが引き続きやるやらないは別にして、そういったチームを組んでやるということが、次年度着工という行政の期間を彼はたぶんご存知だと思うので、その中でああいうふうな意見が出てくるということは、できるんじゃないかなと彼は踏んでいるんじゃないかと思ったんですよ。どうなんですかね。それは僕は本当に素人だからわからないんですけど。
⑦	だからまさに僕のアイデアも、名を捨てて実を取ればいいんだというふうに思っているから。新たに公募していたりすると、たぶん大変なんですよ。それで、やっぱり僕らは7

	<p>月からかかわっているから、その知識とか経験と、区民のこういうのがあるじゃないですか。だから、基本的にこの幹事会のメンバーが、どういう肩書になるか位置づけになるかわからないけど、この人たちを継続的に、いわゆる作成段階の初期の段階で、要するに基本的なことを決めるところに参画させないと。まず参加させてほしいと。</p> <p>それはなぜ今の幹事会メンバーなのですかという、新たにやるとしよせん工期が行政としては譲れない線だと思うから、もう来年度中にやるとなっているわけですよ。効率的に進めなきゃいけないから、だから⑩さんと同じ意見なんだけど。今のメンバーで加わる人がずっと継続して、再修正案を作成するそこに意見を言える機会を設けてほしいんだと。そうすると、修正案みたいな基本計画みたいな区民の声と行政の最終的な決断の差が縮まるんじゃないのという。たぶん⑩さんも同じような意見だと思うんですよ。</p> <p>さらに言っちゃうと、それでも僕は難しいと思っているわけですね。秋着工に。まず予算を取らなきゃいけないでしょう。予算は今年度中に取りわけでしょう、来年度予算。だから、実質的には再修正案は来年度予算までにつくっておかなきゃいかんわけですよ。それは大丈夫なの？</p>
①	それは来年度は部分的な。
⑦	じゃあ、余地はあるんだ。
①	説明会でもちょっと言ったんですけど、来年度着手というのは来年度に本格着手ではなくて、道路とかのための準備工事なんですね。なので、それは大丈夫だと思います。ただ、やっぱりいろいろ、少なくとも来年度中にはすべて固めなくちゃいけない。ですから、来年の秋までにはすべて固めなくちゃいけないということは変わらないです。
⑦	タイムスケジュールはやっぱり限られているんだよね。
①	はい、限られて。来年度中ではなくて、来年度秋には大方が決まっているという形。
④	質問していいですか。今回こういう機会が得られたのは、ご存知のとおり土壤の汚染の情報が出てきたからですよ。その課題に重ねたときにも、来年度の工事というのは着工可能なのでしょうか。
①	それは向こう側なので。
⑥	土壤汚染が出てしまったというのは、旧松本橋より北側で、八つ橋の池よりも北側ですね。桜井のポンプ場のあたりまでの区間なので、来年度工事の区間ではない。
④	この私が聞いている理由というのは、第1回目の意見交換会のときだったか、「掘ればどこでも出るのよ」という女性の発言があったのがちょっと記憶にあってね。その心配に対する大丈夫という見込みはあるのかという意味の質問ですけど。
⑥	ちょっと言い方が難しいんですけど、今回整備するにあたって昨年度、試掘ということで土の調査を行ってございまして、当然その試掘をやった結果、今回土壤調査をした範囲に鉛という環境基準のものが基準値をオーバーする形で出たんですね。それをもって東京都の環境局に行ったところ、今回の指導という形でその範囲についてちゃんと調査しなさいよということで調査しています。裏を返すと、逆に他で出てこなかった試掘の部分、今回の1.1km区間の中の約700m区間については調査をせずとも法律的には問題ないということで、調査をしていない。で、基準上の汚染物質はわからないという答えですね。調査をしていないので。法律的には調査をする必要がないのでしてない。
⑧	そういった土壤汚染が出てくると問題であれば、1年遅らせることができたんだけど、こ

	<p>れだけの住民反対があつて、新たに意見交換会をしてというようなプロセスをはさんで、そういったことで延ばすことはありえないというのはちょっとおかしな話で。これはやっぱり区の行政がどうやって区民と協働していこうかというような、見直しの期間だと思うね。そういうふうな新しい住民との関係を行政とタッグを組んで、公園だけじゃないですよ、区がこういった形で体質改善をしていくんだというような、そういった問題解決のための期間を発生させるというか、その期間をやるためにこの1年間はあるんだと考えると、それはちょっと遅らせても僕はいいと。</p> <p>昨日も書いたように、上位計画の長計に書いてあることであれば、29年度から着工なので。</p>
①	一応、これから約1年あるんですね。来年の秋ですから。そういう期間の中でいろいろやっていきたいとは思っています。
④	そうなの？そこら辺の話が。
①	ただ、それが「開かれた形で取り組む」という形に関しては別に問題はないかと思うんです。この書き方としてですよ。参加プロセスの検討という形で書いてあって、それがどういう形になるかというのはまだ見えていないところが正直なところ。
④	今のは、まずは基本的に⑧さんが言ってくれた認識は、行政のこの担当者の皆さんにおいてはあるというふうに踏んで、私たちは共有していいんじゃないかと思うんだけど。
⑧	僕のというのは？
④	参加ということが大切だ、それに価値があるという認識があればこそ、これもあるし。ただ、もう一つは、工事を来年度着工したいということとの狭間において、軽々なことは書けないというのが今の話題だと思う。
⑧	そうだよ。1年延ばせと言われて、OKは言えないわけだものね。
④	あと1年あるかもしれないという発言なんか、あれ大丈夫なの。それ、大丈夫？
②	あと1年というのは、来年の秋までに完成させないという意味で。
⑧	30年度に入れるということだね。
①	それは、30年度に準備工事を始めるということでは今のところオーソライズを取っているもので、それは別に問題ない。
⑦	僕が大事なのは、検討に入る参加プロセスが何らかの形でできる、つくることが今回の提言書の中で一番大事なかなと思っているんですよ、僕自身は。それでいったん、工期は来年度。これはたぶん譲れないよねと。行政としては、いいじゃないですか。とにかく検討に入りましょうと。区民もいろいろと意見を出そうじゃないですかと。それで、実はなるほど、これならこれでいいよねと言っちゃえばそれで行くし。ひょっとして区民の言っていることが、いろいろな課題山積ですよと。なかなか本格工事を秋に始めるのは難しいんじゃないですかというふうになるかもしれないよね。検討の中で。そこで、とにかくその可能性を秘めているものとして、僕は区民参加のプロセスをとにかくつくってくれと。つくってくれたらそこに入りますと。このスケジュールに基づいて。そういうのがたぶん現実的なのかなというふうな。1年間延ばせとかいうことをこの提言書で書き込みたと言ったときには、たぶん区幹事は「それはできない」と言うんだと思うんですよ。
④	⑩さんもゼネコンにいらっしゃったという話をうかがう中で、さて再修正案はいつまでにできていけば秋からの工事に入れるのですか。準備工というのがあったり、契約行為とい

	うのがあったりとか、ありますものね。
⑥	そうですね。秋から工事。夏には設計があがっていないといけませんので、設計が夏にあがるということは、もうそれまでにいろいろな数量の調査をすべて完了していなければいけませんので、当然、春にはほぼ方針を決定して基本設計が終わっているというような段取りを組んでいないと、とてもじゃないですが余裕のある設計にはならないんですね。なので、もう春にはほぼ固まっていると。
④	そうするとこの再修正案というのはいつできあがるという今のスケジュール感を持ってしゃべっていますか。
⑥	いま区内でもいろいろとスケジュールが動いているので。
①	そうですね。今いろいろ動いているのでちょっとこの段階では言えないのですが、できるだけ皆さんのやれるように私たちは努力しています。
⑧	これは本当にもったいないと思う。
④	わかるよ。それはみんなで共有していると思う。それで心配もしているし、このままで大丈夫か、こんな温度差があって大丈夫かという心配もしているんじゃない。
⑧	区民参画の機会をね。
④	それはわかった。だから、さっきの「後の」というところで、外したほうがシャープになるでしょうというのは、まさにその話を⑩さんは言ってくれたりしているわけだけど、再修正案というのは、どういうカレンダー感を持っているのか。行政において実現できるのかという心配を行政はしていると。でもそれがいつまでなのかというと、年度いっぱいまでに再修正案をつくらうとしているのですか。それとも5月くらいまで、6月くらいまではいいいんですか。
①	それはまだ。それはちょっとまだあれですけど、来年着工はとにかく秋までなので。
⑧	でも同じようにね、また図面を描いて、「はい、これでどうですか」と意見交換会をやったって似たような、同じような形になっちゃうよ。
④	心配している。
①	ですから、結論から言ってしまえば、この①の再修正案づくりを区民に開かれた形で取り組むという形は、行政としては。提言書なので、あくまでも。行政という形で受けるのはしょうがないよね。でも、これはしょうがない。
④	行政じゃなくて、同じ幹事だから。
①	いや、でもそれは。
⑧	それで、ここに区民参加という形を入れたい。でも本文の中身は入っているじゃない。
①	そこは難しいところなんですけど。検討なんでね。
⑩	例えば区民参加の参加の仕方もいろいろあるんだと思うんですよ。区民ないし幹事会の幹事の立場として、提言書を出しましたと。これがこのとおりに、このとおりでなくてもいいけどこの内容をどういうふうに踏まえて作業が進められているかというのを、チェックすると言ってしまうのは悪いですが。
①	はい、検証させる、検証みたいな形ですね。
⑩	あるいは、ここの中で実際には反映できないということが当然あるとします。あるでしょうけど、それを行政として区民に説明しなきゃいけない義務があると思うんですね。そのときに幹事として、それだったらわかるのか、それはちょっとないんじゃないかとか、い

	ろいろあるわけじゃないですか。そこの再修正案をつくるまでの段階で、適当に情報の公開と、例えば作業の進捗状況で、作業そのものに加わらなくても、作業の進捗のそれぞれの段階でそれこそ意見交換でもないけど何かをやるということくらいはできないかな。
①	はい、情報提供を。
⑱	情報提供して、これは区民としては納得できないとかいうことをちゃんと。
㉑	コメントを受けるとのことですね。
⑰	修正案のところまでは一応、区民の意見は聞いたと言ったけれど、最終的な図面がぼんと出てきて、説明の仕方も「こういう状況になりますよ」という説明にとどまっていた、というプロセスでこれが出てきたという説明がされていない、されていないかと思ったんですね。それは、行政がその事業をするうえで行政としての説明責任をあまり果たしていないというふうに僕なんかは理解しているんですね。だから、行政がちゃんと、どういう再修正案ができるかというのもあるんだけど、そのプロセスをちゃんと区民に説明する義務が当然あるかと思うんですね。それを果たすための。果たすためというか、それを形としてやる場として、ここで言われている「開かれた形で取り組む」という中に、言葉は「区民参加」と入れるかどうかは別にして、そういうある意味で言うと区民によるチェックというか、そういう何かが入るような形のほうがいいんだろうなというふうに。いきなり「こういう結果になりました」と言って図面を出されるよりも、行政としていろいろなチョイスがあったりとか、それから「これはやれない」という話が出てきたときに、一応、区民の目でフィルター。フィルターという言い方は変ですけども、通してやっていったほうが、まだ少なくともこれまでのやり方よりはいい形でいけるんだろうと。
⑦	<p>僕はね、それにもまず賛成なんですよ。でも、もう一つあって、その前の段階で、再修正案作成の段階で僕は行政・専門家・区民の三者で構成される検討体制をつくってほしいと。要するに、作成の段階で言う。最後にどれを取るか取らないかというのは行政なんだけど、作成の段階でむしろこの 1,300 の意見について踏まえた、区民がいろいろと意見できる、意見を述べられる場を僕は絶対に設けてほしいし、設けないとまた今回の修正案みたいなね。やってみたら、説明してみたら全然違うじゃないかとなっちゃうんじゃないのと思っているんです。</p> <p>だから、たぶん⑰さんが言っているより僕はもう少し行政に対して要望していいんじゃないかと。それをどうするかは、やっぱりだめだと言うかもしれないけども、少なくともこの幹事会としては修正案の結果を踏まえて反省を踏まえると、作成の段階で区民に入ってもらってやったほうがいいんじゃないの。そういう声がありますよと。幹事会としてもそうなんだと、こういうふうに言えたらいいかなと。そこまで区幹事さんは反対するのかなと。そういう声がね。幹事会としては、そういうことができたらいと。その最終判断は当然、行政ですよ。公有地ですからね。</p>
①	意見交換会の中でそういう意見が出たというのは、問題はないと思うんですね。幹事会として私たちの立場としてのところが非常に微妙なところですけど、「そういう意見が出ました」であれば、まあしょうがないかなと。
⑰	肝心なのは、これまでのプロセスからしましてね。さあ、それを踏まえて再設計に入りましたと。けど「こんなものができたよ」では遅いんです。それがほとんどかなってればいいですけど。受け入れられれば。おそらくそうはいかないんじゃないかなという想定

	はできますけどね。だから、その過程、過程で、「こう要求されたけど、この問題は3で割れそうだよ」という理由と、その形を我々区民がその段階で知らないと、まず。知ったからってどうにもならないかもしれません、それは。
④	そうそう。そこの話がポイントだと思うんです。知る知らないという状況を、知る状況にしましょうと。
⑯	そうです、そうです。
④	あと、検討をくみする状況を取りましようか、どうでしょうかと。また、それを行政の1つの仕組みの中で位置づけた形にしましょうかと。勝手連で、OB会でそういうのをやろうと。それで、きちんとただしていくと。両方の、どちらか寄りではなくてニュートラルをいつも意識しながら勝手連をやろうというような意識でもいいという考えでいるのか。いや、でも⑦さんのお話だと、きちんと行政のプロセスとして意思決定のプロセスの中に位置づけるべきじゃないかというニュアンスが強いですね。
⑯	いや、できればそれが一番いいでしょうけど、かなわないものをいくら求めてもしょうがないでしょうから、ある程度下がったポジションで、ただ「結果がこうなりました」にならないように。信用するとかしないとかそういう問題じゃなくて。例えば月1回とかね。幹事会とか仰々しい名前は要らないですよ。連絡会でも何でもいいし。フランクな形でできればいいんじゃないかなと思いますけど。
④	この件について。道路課と。道路の検討と公園の検討で、公園の検討が先行して道路の検討が遅いということの計画のアプローチというところもこれには大変大きくからんでくるころだと思ふところがあって、これを実際に招集してくれたのはこちらの部署なんですけど、行政は縦割りだから。でも、これは部局が横つながりでやらないと展開しないこともあって、道路としてはいかがなんでしょうか。部署で言わせているわけではないのですが、⑳さんの的にはどうですか。
㉑	区側としては、「区民に開かれた」という表現で止めたいというところの意見のうえで、区民参加まで書いたほうがいいんじゃないかと言う人の数のほうが多ければ、幹事会としての数という話で今日は収めるというのものもあるかなと思って聞いていたのですが。
⑰	「声がありました」という形であれば問題はないかなと。
④	「声がありました」という以上に、何かしらの表現をするということをしなくちゃいけないときに、いや、実はこれが一番どうなるのかなと僕は一番心配していたところで、最終的には多数決ですよと。でも、そのときに前に意見はきちんと言ってもらわなくちゃいけないですよと。これで㉑さんも言ってくれたから、場合によってはこれで多数決に入るのかということで、幹事会としての方針は決めないと仕事が終わらないから。
①	本当に、そろそろ終電がなくなっちゃう。私は大丈夫ですが。
⑰	私も歩いて帰れる距離なので。区民は。
⑦	そうすると、まとめに入れるかどうかは別にして、例えば提言Ⅲは、「再修正案作成とその実施過程で区民に開かれた取り組みを行うこと」。
⑧	「参画」は入れてくださいよ。
⑤	⑧さんが文章を。
④	そうですよ。⑧さん、文章を言ってくださいよ。
⑧	さっきの将来はどうするか。消しちゃう？

⑨	個別に出てくるから、それはそれでなくてもいい。
⑧	再修正案作成を区民が参画する形で行うこと。
⑦	そうすると、「参画」という言葉を使うか使わないかだけだね。
⑧	今は使う方向で。多数決なら仕方がないと言ってくさったので。やっぱり⑦さんもおっしゃったけど、やっぱり参画形態は上流工程できちんと区民が入るということを明言しちゃったほうが。後ろに書いてあるんですけどね。それは幹事会意見として提案させて頂いたほうが、ここはいいと僕は思っていて、ここはやっぱり協働云々というのはあるんだけど、やっぱりハンドリングは行政が持っているので、ここはきちんと提案させて頂きたいと。
⑦	これは一人ひとり言いましょう、幹事の意見を。
⑩	私はちょっとやわらかいんですけど。できればそれは「参画」が結構です。穏便なところでは「開かれた」かなという。その代わり、その中には先ほど申しましたような、仰々しい堅苦しい集まりじゃなくてね、やっぱりその場その場の過程で、設計の過程でそれなりの説明、情報開示は頂ける。それが望ましいかなと思います。
⑦	⑨さん、どうですか。
⑨	文言としてはそういう格好でいいと思いますけど、いま言ったように基本的に現実的には難しいという中でのある意味むなし意味での「参画」。⑩さんと同じように、できてくるものについては私はやっぱり若干懐疑的な部分があるので、そこに間に入っている部分の不安もあります。
⑩	「参画する」という言葉を使えるのであればそれがいいと思っていますが、「開かれた形」でもよいと思っていて、でもその場合には、やっぱり幹事会に報告とか、説明とかをして頂いてやっていけたらいいなと思います。
⑪	「開かれた」という形で皆さんにある程度ご同意頂けるのであれば、そちらの文章のほうが区としては提言書として全面的に受け取りやすい文章かなと思いますというところです。
⑥	「参画」という言葉では、意味としては一つに集約されかねないということで、できれば「開かれた形で」という形で。
⑧	緑と自然の基本計画に書いてある言葉だから。言っちゃなんだけど。
⑫	「開かれた形」ねえ。僕は⑧さんほど参画という言葉には実は。
⑧	でも、プロセスは大事にしているでしょう。
⑫	プロセスは大事で、開かれた形でちゃんとした。でも、開かれた形というのは。
⑧	よくわからなくて、さっき言ったように後工程で開かれるというパターンもありうるの。
⑫	その辺の保証がないんだったら、参画。
⑧	だからそこはね、設計段階での参画と書いておかないと。少なくとも設計段階での開かれる状況が必要だよという話ですよ。あるいは意見を交換できるような。
⑦	どうしますか。
⑫	できれば「参画」のほうがやっぱり、望ましいという意味で言うと、個人の意見として言えば望ましいと思います。
⑦	まさに書き込むとするという。個人の意見は似たような意見だと思うんだけど、最終的に「参画」という言葉をこの表題のところで使うか使わないか。これですね。

⑫	使いませんか。使いましょうよ。
⑦	ということですね。はい。
①	私は表題では「開かれた」、中のほうに「参画」という言葉が入ってくるには構わないと思いますが、意見としてはそういうところです。
④	私も言うてくださったとおり、僕も参画という言葉はどこかに入れたいと思いますが、表題は「開かれた」でよろしいんじゃないかと思います。
⑤	私も、中に「参画」という言葉を入れたほうがいいと思うんですけど、「開かれた」という意味には積極的に公園づくりに入っていく以外にもいろいろ公園の情報発信をしていくとかそういう意味も含まれると思うので、そういう意味で「開かれた」という広い言葉を最初につけたらいいと思います。
⑦	僕は「開かれた」でいいんじゃないかと。思いは一緒ですけどね。たぶん行政としてはなかなか使いにくいだろうと。それで、基本計画にあるじゃないかと言われたけれど、これは具体的なある案件があるから、一般的ないわゆる一般論としては「参画」という言葉を行政として使えるかもわからないけど、これはある一つの具体的な案件なので、それはたぶん違うんだろうなど。
⑧	そういうふうに具体的に書いてありますよ。「新しい公園整備に際しては」と。
⑦	中身に関して言うと、まさに僕はこの参画形態の検討というプロセスの中で三者で構成された協働検討体制の早期設置ということを幹事会として願うと。これはたぶん中身だと思いますのでね、参画のね。そういう要望をするという前提で、僕は「開かれた」でいいというふうに思います。さて、数的に言うと。
④	⑧さんが。
⑦	⑧さんはもう「参画」だものね。
⑧	繰り返し繰り返し。江東区は遅れないようにしないと。よその区から。この感覚って、僕はかなり遅れていると思いますよ。ここでノーだと言うのはね。
①	ノーだと言っているわけではない。
④	今の話を前向きにとらえれば、その下の具体的なところでぴしっと言おうぜという意見でしょう。
⑧	もちろん、そう。
④	①さんですらそうだから。「ですら」と言っちは怒られちゃうけど。
⑧	今のは何となく多数決で決まっちゃったようなんだけど、だったら中身できちんと書いてもらわないと。
④	具体的に言えば、この1のところでは「参加を確保する」という文言もあるわけで、これを飛ばして⑦さんと⑩さんは下のところで来たわけ。大丈夫かなというのを、いま議論して決めていきましょうね。
⑦	そうすると、「再修正案作成とその後の」。これを生かしていったいいのかな。
⑧	「後」を入れるかどうかですね、あとは。そのトーンを。「後」はさっきの⑤さんの話だと「将来の」という話があったんだけど、⑯さんの話であれば、「後」とか言わないで再修正案にポイントを絞ったほうが強めになるだろうという話ですね。
⑦	ここは行政はどっちでもよさそうなのですか。将来のこともここで開かれたことをやりたいと。それでいいんですか。

①	さっきちょっと言ったんですけど、やっぱりボケないほうがいいと思うんです、今回に関してはですね。特にここまで来ちゃっているんで。なので、「後」や「将来」は。中に入れるのはいいんですけど、表題としては。
⑧	そうだよ。だから、少なくとも今回は。弱まったけどこれは計画。
⑦	そうそう。「再修正案作成の検討を区民に開かれた形で行う」というのでいいのかな。
④	再修正案の作成と検討は同じことだ。
①	そうだ、「作成」は要らないかもしれないね。
⑦	「再修正案の検討」ね。OK。では次、その中身ということですが、最後の一踏ん張り。提言Ⅲ。このところで、いま資料のところにある中で。
⑩	参加形態の検討。
⑦	P.9 ですよ。
⑩	はい。「継続する要請があります」でよろしいですよ。
⑦	あるからね。
⑩	あるですよ。これでいいかなと。
⑦	Ⅲ-1。まず前文のところ、僕自身、意味が取れないところがあるんですけど。前文はどうですか。表題は変わるとして。「整備後も気持ちよく使える云々」ということが書いてありますね。それから、セカンドパラグラフで家庭支援センターと小学生のことも書いてある。説明しているんですよ。それで、「これからも魅力的な公園であり続けるためにも、計画段階に使い方の考えが反映された再修正案の検討を望む声が寄せられています」と。これは意見を紹介している。願っていると。で、1番が参加形態の検討で。
①	P.4、P.5 だと思います。
⑦	今 P.4、P.5 ですね、原案の。それで、参加形態の検討。「本事業では区民参加の枠組みを継続する要請があります」と。これはいわゆる幹事会とか意見交換会のことを言っているんですかね。2が「三者で構成される……早期設置」。要望だと。提言Ⅱの検討項目に対する区民の合意形成を可能な限り図ることが求められます。区民の声を反映する、区民。とりあえず区民の声を反映するもの。それが区民。技術提案、それから行政。協働による検討体制を立ち上げて取り組むことが重要ですよ。それから区民参加プロセスの検討では、前提としますと。幹事会としては提言Ⅱの検討に多くの時間を要することが想定されるため、区が上記体制を11月早々に立ち上げられるよう要請しますと。また、検討期間が極めて少ない条件下で効率的に検討作業を進めるためには、本年7月以降、今回の幹事会のメンバーが当検討体制に参加することが望ましいと考えますと。ここまでの。 それで、ここで落ちているのが、先ほどの⑧さんのご意見を踏まえると将来の。
⑫	Ⅲ-3 の。
⑦	Ⅲ-3 ですか。「またこの取り組みの展開系として」というところが将来の話なので、これがここでは。
①	Ⅲ-3 はどこに。
⑦	P.10 にありますね。「前提とします。また、この取り組みの展開系として」というのがオリジナルには書いてあったのですが、これは僕が絞っちゃったので落としましたのですが、今のご意見を聞いているとむしろこれを生かしたほうがいいのかなという。
①	それは問題ないかと。

⑦	これは生かしですよ。 「前提とします」の後に。 だからこの文章ですよ、 P.10 のⅢ-3。
①	これが最後に入る。
⑦	入ると。 それで、「また」のところを、以下、「当幹事会メンバーが検討体制に参加することが望ましいと考えます」ということについては、これは入れたほうがいいのかよくないのか。 それから、付記として区民幹事。 これは行政は言いにくいだろうな、それからコンサルタントの人たちも言いにくいだろうなと思って、かつそういった意見が合意ではありませんという、そういう意味の付記なのですが、区民幹事は①自然資源、それから②、いったん手を入れちゃうと戻すのは大変だよ。 それから③は、1年遅れても区民生活に影響はなかったですよ。 それから④、他の事業とかかわりない。 これは⑥さんから説明を受けて。「上記三者検討体制で検討を尽くすことが最重要であり、このために区の上記工事スケジュールが当初計画より遅れても区民の利益にかなうと考えている」と区民幹事は考えますということ、僕は付記したほうがいいんじゃないかなと思ってあえて書きましたが。 今度は、今のⅢ-1 からⅢ-3、付記について最後に。 今Ⅲ-3については追記すること、ここでね。「またこの取り組みの展開系」というのは入れると。 その後はどうでしょうか。 ここが最初に議論していたところですので。 まず、付記より上のところですよ。
①	参加プロセス。「また」が2回続くのがちょっとあれかなと思って。 その辺は文章のつくり込みの話なので、こっちでやらせて頂ければいいと思います。 だから、ここの文章をつけ加えるのはいいのかなと思います。
⑤	上のやつに下の1個をくっつける？
⑦	そういう意味ですよ。
①	「また」が2回続くので、それはちょっと考えます。
②	ここで「また」が出て。
⑦	追記するのが「また」だったからね。
②	あと、これは完全に個人的な印象ですけど、Ⅲ-3の最後の3行、「現幹事会のメンバーが当検討体制に参加することが望ましいと考えます」というのが、内容的に付記にあっても不自然じゃないのかなという印象をちょっと。 付記を入れるのであれば。
①	そうか。 この「また」を1回にして。
②	付記を入れる入れないはまたちょっと別。 入れるのだったら、そっちかなと思ったので。
①	私もそう思います。 そうすると、「またこの取り組みの展開系」という文章をそのまま使って、付記のほうに「また……」と入れれば非常に文章としてつながりがいいかなと。
⑦	この付記の意味は、三者の幹事でたぶん立場上言えないよなという意味で、区民幹事はこういうふうにと考えると、そういう意味です。 そういう意味合いで書いたらどうかと。 それから、行政もこんな意見を区民幹事は持っていますよということ踏まえて、また何か考える際に参考になるか後押しになるんじゃないかなと思ってね。 こんなのを入れたらいいんじゃないかなと思って入れたのです。
④	この記述は、一般区民の人はどういうふうを受け止めますかね。
⑦	①の現幹事が継続的にというのはたぶん、そうだよなというふうを受け止めるんだと思うんですよ。 ただ2番については、時期のことについては、どういうふうを受け止めるか。
④	具体的にいくつかあげれば、この幹事は競争状態で落ちた人がいるんですよ。 それから、こういう運営じゃなくてもっと過激にやれとか、もっときちんとやれと言っている人

	もいると思うのです。意見を同じくする人ばかりではない中で、だからこそ任期があるという中で、私たちには社会的な立場があったと思うのです。ある意味、これは合理的だと僕も実は思うんですよ。しかし、ここに表現するのはどうか、というふうになんか疑問を私は持ちました。
⑦	要するに、提言書という公になるところにということですね。そういう意味では、僕はむしろこれは区幹事の方も同じような。期間はちょっと別ですよ、例えばね。メンバーはそのまま、できるだけ行ける人は一緒に、もしもそういう検討プロセスができれば、新たに公募してやるよりは知識をけっこう積んでいる人たちに集まってもらったほうが短期間でできるなど。これは行政のことを意識して入れたほうがいいんじゃないかと思っているんですね。だから、いま④さんが言われた観点はなかったですね。
④	もう一つ。
⑦	いや、僕は落としてもこれは別段差し支えないと思います。というのは。
①	ではここではなくて、幹事会の最後の資料編のところに入れるという手もあるかもですね。提言書のここじゃなくてもいいかと。確かに④さんに言われるとそう思うところではあります。
⑦	どうですか、⑨さん。
⑨	私は、現検討委員会がいいという文言は要らないと思うんです。ただ、実際にその前の話で、1年遅れても影響はなかった、きちんと議論を尽くすべきだというのは書いておいてもいいかなと。
⑦	なるほど。むしろ後半。
⑨	はい。
⑦	⑧さん、どうですか。
⑧	1と2というのは、上のところに提言としてもう盛り込まれたということですよ。盛り込まれたうえで提言をしているのでという意味で、1と2は要らないかなと思ってはいます。⑨さんの意見をちゃんと聞いていなかったんですけど。
⑦	1と2というのは。
⑧	今は付記の話をしているんじゃないの？
⑦	そうです。付記の①、②ね。
⑧	そう。③に関しては、ちゃんと書いておいたほうがいいというのはあります。
⑩	3番目？
⑧	3番目というのは着工時期の話ですね。
⑦	付記は①と②しかないよね。それから、メンバーのところもむしろ付記に落とし込んだほうがいいんじゃないかと⑪さんが言われて、そうだよねと。
⑫	私が言った意図としても、提言書の本文に入れる感じではないかなという。ニュアンスとしては、重要度がそんなに高くないんじゃないのという。重要度というか、提言書ぼくはないかなと思ったのでという意味があるので、もし削っても構わないという人が多ければ削ってもいいのかなと。
⑦	⑧さんの意見は、このメンバーのところは削っていいんじゃないかということですよ。
⑧	そうです。最後のところだけ。
⑦	こっちは残したほうがいいんじゃないかと。工期のことですね。⑬さん、どうですか。

⑬	私も、どちらかというと⑨さんの意見ですね。
⑦	どうですか、⑩さん。
⑩	現幹事会については、私は任期で解散でもいいかなと思っていて。でも、ちゃんと組み立てるにあたっては専門の人の意見を聞いたりしてやってほしいなという意向があります。それは2番に書いてある、この上に書いてあるので、そこに入っているなど。
⑦	⑬さん、どうですか。
⑬	付記の1、2ね。確かに④さんの話、落とされた人がいるという話とか、それから考える①についてはここであえて触れなくてもいい。工期、これって提言書の中で来年度中の工事着工を前提としますという文言が入るわけですよ。入るのであれば、この工期の延長について区民側の意見は違っていましたよというのは明快にしておいたほうが、付記として記しておいたほうがいいのかというふうには思います。
⑦	④さんのご意見は。
④	僕は、この付記は全部要らないかと思っています。これを書くなら意図があると思うんですね。その意図が不明快、あるいはいろいろな解釈をされるということで、前段に書いてあった提言書全部が同じような伝染を受けちゃうともったいないかなと。明快に言いたいことをシャープにしておかなくちゃいけないんじゃないかと。含意が、すごくいろいろな含意があるという文章だなと思うんですね。書かれている内容が。
⑦	どうですか。
⑤	区民幹事だけの意見というのがここにぼっと出てくるのがちょっと違和感があるというのと、実質的に延ばさないとこれだけの提言をやっていけないというのは事実としてあるので、ここでわざわざ言わなくていいというところは私は思います。
⑦	僕もこうやって今いろいろなお話。やっぱりちょっと違和感がありますよね。メンバーは要らないと思います。これは、むしろぜひ区の方が考えてくださいという感じで、ここには要らないという感じ。それから工期のところ。ここだけ本当に区民幹事と出てくるのは、本当にいま④さんが言われたように、他の全体との関係でいったい幹事会って何だと言われちゃうのかな。そういうふうにとられるのかな。
⑳	そうであれば、Ⅲ-3の一番上の行が区で想定される来年度中の工事。これは区の立場を最初の行に書いているので、この文章が、たぶんこの文章だと区民幹事の方が合意ができないという意味もあって付記がついているということであれば、この文章について行を増やして、そこに検討の期間を設けるという趣旨の下の付記に書いたような趣旨のことをある程度、言葉としてちょっと。あまりよくないですか。
⑦	それは難しいよね。
⑥	それは区としてはだめだから。
⑬	区民参加のプロセスの検討。このⅢ-2の協働検討体制の早期設置については、これは載せるので大丈夫ですか。
⑦	今のところ、1、2、3は載せるということによろしいですよ。そういう理解で皆さん。
⑬	区民参加のプロセスの検討というのは、特に要らないのか。要るのかな。
④	それも含めてちょっと確認させてもらっていいですか。
⑬	だから、参加の形態の検討がここで書かれていますよね。それから、区民の第三者の協議会の検討の設置がここで書かれていますよね。そうすると、区民参加のプロセスの検討と

	いうのはあえて載せなくてもいいのではないかと。
⑦	それはありえますよね。
⑰	そうすると来年度中の工事着工の話もとりあえずは書かなくて済む。
⑦	あえて。それは行政の計画の中であるというのは事実ですからね。それについてここで触れる必要はないんじゃないかと。
⑰	はい。触れる必要はないんじゃないかと。ばっさり切っちゃっても。
⑦	Ⅲ-3 をですね。どうですか。
⑤	Ⅲ-3 の「またこの取り組みの展開系として開園後の公園活用……」という文章が出てきて、ここは⑧さんの言うところの重要なところじゃないですか。
⑧	寂しい思いをしていたんだけど。あれだけ主張したのに、ばっさり切られちゃって。
⑤	これは2の後ろにくっつけではだめかな。
⑦	どこかに入れればいいじゃない。
⑰	では、それを独立させてⅢ-3 で入れて。
⑦	それでいいじゃない。Ⅲ-3 のところに「またこの取り組みの展開系として……」というのを入れると。それはありえるんじゃない。「この取り組み」でいいんですかね。「今回の取り組み」？「この取り組み」なんですよね。Ⅲ-1、-2 で言った取り組みの展開系としてということですよ。だから「この」でいいんだな。「この取り組みの展開系として」でよらしいんですよね。
⑤	これはタイトルが変わる。「区民参加のプロセス」ではなくて。
⑰	それこそ。
⑦	今回の整備が行われた後の話をするわけですよ。
⑰	開園後の。
⑦	開園後というか、整備後なんだよね。
⑰	そうですね。
⑧	下の言葉は「開園後」と書いてある。「開園後の公園価値を」。
⑦	でも、そうじゃないよね。
⑩	「将来の区民参画の検討」でいいんじゃないですか。そこに「参画」と入れれば。
⑦	「将来の区民参画の検討」。どうですか。
⑨	語尾だけ気になりますね。つなげていきます。
①	タイトルが変わるということですね。
⑦	「将来の区民参画の検討」ですね。それでこの文章。
⑩	⑨さんが今おっしゃっていたのは、最後の「機会づくりにつなげていきます」？
⑨	「機会づくりが求められます」とか。
⑩	参加できるよう検討。
①	「将来の区民参画の検討」で、「上記体制」というところは残すのですか。残さない？もういいんですね。さっきのもう一つの資料の P.10 の「またこの取り組みの展開としては」というところに行っちゃって。
⑨	「また」を取って。
①	「また」を取って「この取り組みの展開としては」ですね。

⑦	「つなげていきます」でいいんじゃないのかな。
①	うん、いい。「機会づくりにつなげていきます」。「機会づくり」が何回もある。
⑨	なんか語尾が。幹事が「つなげていきます」って。
⑦	なるほど。
⑰	幹事ではない。そこに入る文言は資料の P.10 のⅢ・3 の黒文字のところですよ。「この取り組みの展開として……」。なんかこれもちょっとおかしいな。
⑩	「協働」が2回出てくる。
⑨	「……が求められます」とか。
⑧	3だけ、ですます調になっている。
⑳	ですますは混ざっていますよね。全体として統一はとれていないでしょう。
①	12時になっちゃう。そろそろここも閉められちゃう。
④	⑦さん、この話で終わるのは結構なんですけど、確認だけさせてください。
⑦	どうぞ。
④	P.9 の。⑦さんと⑱さんがやっておられるときに他の人の意見がどこまで配慮されているんですかと、今日最初のところでだいたい時間を費やして言いましたよね。ここのところでもやっぱり。あるいは1,000 いくつかの意見の中で「複数案を検討し、長短を検証する」とかね。これは求められるところの1の。これは⑦さんがおっしゃっていたことを書いていたんです。それから、資料や説明をきちんと出せと。これも⑨さんがずっと言ってくれていたことだし、それから1,000 いくつかの中には工事費の想定がどうなのかと。それから、工事の判断尺度がよくわからないと。特に一通においての話などはきちんと共有されていないがゆえにああいう状況になっていることもありました。それから、避難計画は⑳さんが今日言ってくれましたよね。それから、交通規制がどれだけあるんだという質問なんかもたくさんあったんです。それから土壌汚染とその実態で、どういうふうに対応するんだというのもありました。ここのところをね、また今回も話題にしなくていいならばいいんだけど、実際、1,000 いくつかの意見にはあったし、意見交換会でも出ている意見なんです。それを明確にするということこそが、まずもって重要なことなのではなからうかという。
⑦	提言Ⅲのところですか。そうですね。P.9。
④	これを⑱さんと⑦さんは話題にしないで進めてきているわけね。
⑦	提言Ⅲは、プロセスのところに。プロセスに限定しちゃった？
④	というか、計画段階において複数案を検討して長短をやるべきだとおっしゃっていたところとかがあったでしょう。それは⑦さんがおっしゃったことだと思って書いていたんですけど。
⑦	それは出ていますよね。
④	あった？
⑦	提言 I -6 で複数の計画検討と共有。
④	あ、そういう判断で。
⑦	これはそういう意味じゃないかな。
④	継続して。資料がまだ出ていないじゃないかと僕は思っているわけなんだけど。
⑦	それはここには書いていないですね。
④	そういうのがずっと気になっていたがゆえに話題に。なぜお二人はこういうのを。他の人

	のそういう意見が入れられていないのはどうしてなのということだと。
⑦	それはあえて落とすのではなくて、僕は要するに見落としというか、くみとられていなかったから。今のやつを入れるのは全然やぶさかじゃない。いいんじゃないですかね、そういうのを。だから、落ちているのがあれば入れてくださいというのはそういう意味ですから。今の点なんか。資料のところは全然書いていないですよ。入れ込むとしたら、どこに入れるんですかね。提言Ⅲの？
⑰	提言Ⅲの中でしょね。
⑦	オープンにしてくれということですよ、情報をね。
⑰	提言Ⅲの中で、順番は別にして、「開かれた形で取り組むこと」ということで。
④	区民の関心に応え、状況と判断を理解し、共有しやすいように示す」とか。この文章を入れればいいと言え、それで終わるかなと。
⑦	どの文章でしたっけ。
⑧	P.9。
④	ここに複数、出ているんですよ。複数の人から出ている。
①	2番の「区民の関心に応え状況と判断を理解・共有しやすいように示す」というのを。
⑦	加えればいいのか。Ⅲの。
⑳	例えば3とかに入れて、将来の区民参画をⅢ-4にしちゃいますか。
⑨	それでもいいと思う。
⑦	いいんじゃないですか。Ⅲ-1、2は参加の話をしているわけですね。今のやつは情報を。そういうのでいいんじゃないですかね。
⑰	ちょっとこの文言がよくわからない。
④	「資料」にする、「状況と判断」を。資料がね、全部出きれていないですよ。「判断の資料にするか。
⑰	そうですね。「判断の資料を」でいいのか。
④	ここは行政的にはハードルがありますか、何か。
⑥	いや、特にない。
①	今やっていますからね。資料を示す。「理解・共有しやすいように示す」ですか。
⑰	「判断の資料を理解・共有しやすいように示す」でいいですか。
④	それでどうでしょうね。
⑦	それで、ポツの1番目と。2番目も入れたらいいんですかね。
⑰	そうですね。
④	声はありましたよね、たくさんね、これはね。
⑦	それはⅢ-4になりますか。将来の区民参画。
④	順番からすると、これを。
⑨	Ⅲ-3にやって、さっきのプロセスをⅢ-4にする。
⑳	将来が最後のほうがいいかなというところで、その間に入れたらどうかと。
⑦	よろしいんじゃないでしょうか。さて、これでとりあえず。
⑳	付記はオールカット。
⑦	付記はカット。

④	正直ね、これは音を聞いてもう一回やらなくちゃ、ちょっと。ですから、やったものを改めて皆さんに流し。
⑦	メール。はい。
④	明後日になっても「昨日出したことにするか」みたいな話があるかもしれないけれど、そうならないように頑張ると。
⑧	語尾が統一されていないので。ですます調が残っている。
⑦	そこはさ、例えば11月1日に最終化されましたと。31日。そこはいいんでしょう。
①	それは、語尾の修正はしょうがないかと思います。
④	今日欠席の幹事にどう共有するかをどうしますか。
①	それは、できあがったものを。
⑨	一応こう決まりましたという形で、今日の修正を直すのも大変でしょうけど、あわせてどういうものが出たか。あと、名前を入れる入れないというのが。
⑦	そうそう、名前。普通、提言書。普通かどうかわからないけれど、入れたほうがいいのか。よくついていきますよね、参考資料か何か。
⑧	入れるべきでしょう。当然、入れるべきですよ。
⑦	名前と、例えば公募区民とかあるじゃないですか、そのカテゴリーが。こういう付表みたいな感じで入れる。
①	はい。
⑦	それから資料、添付資料ね。僕は最低限、1,300のあるじゃないですか、あれは最低限、少なくとも絶対に必要だと思っているんですね。その他の資料があれば。
④	これは表・裏があるんですよ。これはメールにしますか。いま時間は大丈夫ですか。
⑦	いま皆さんの中で、絶対にこれは入れたほうが良いという資料があるかどうか。あればここで言っちゃって。
④	書いてある意味もわからないんじゃない？
⑦	そこはね。僕もわっと。提言書との関係では、区民の意見は絶対にマストですね。
⑧	わからないね。我々でわからないんだから。つけたらなおさら。
⑦	僕はその他のやつはね、前書きに書いてあるじゃないですか、ホームページにありますよと書いてあるから、むしろここに添付するやつは本当に必要最小限のやつだと思うんですね。僕はだからその2つだけ。絵日記は意見の中の1つだから、入れたほうが良いんじゃないですか。あと、家庭センターの。
④	それはメールで確認したほうがよくないですか。
⑦	そうですね。メールで確認したほうが良いと思います。
①	どうもありがとうございました。

－以上－